

令和2年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）  
（総括・分担）研究報告書

高次脳機能障害者に対する新たな職業評価ツールの開発に関する研究

研究分担者 北上 守俊 新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 助教

## 研究要旨

器質性精神障害に位置付けられている高次脳機能障害に起因する、若年の脳卒中患者は増加傾向にあると報告されている。しかし、就労継続支援 B 型における高次脳機能障害者の障害特性等に合わせた効果的な支援プログラムは検証されていない。そこで、本研究では高次脳機能障害者に対する新たな職業評価ツールの開発を行い、高次脳機能障害の障害特性等に合わせた効果的な支援プログラムを開発することを目的とした。本研究では、Work-ability Support Scale (WSS) 日本語版のデータ蓄積と Therapists' Portable Assessment Lab (T/PAL) の翻訳作業を実施した。

### A. 研究目的

器質性精神障害に位置付けられている脳卒中等に起因する高次脳機能障害者の就労率は 45.3% で、発達障害 (67.7%) や知的障害 (65.3%) 等、他の障害種に比し低い現状にある (春名ら 2011)。また、若年の脳卒中患者が増加しているとの報告 (豊田 2010) や就労支援機関の 1 つである地域障害者職業センターへの利用件数も増加傾向にあると報告されている (田谷ら 2016)。これらの実態から高次脳機能障害者の就労支援の社会的ニーズは高まりつつある。しかし、就労継続支援 B 型における高次脳機能障害者の障害特性等に合わせた効果的な支援プログラムは検証されていない。

そこで本研究では、高次脳機能障害者に対する新たな職業評価ツールを開発し、高次脳機能障害の障害特性等に合わせた効果的な支援プログラムを開発することを目的とした。

### B. 研究方法

#### 1. WSS 日本語版の開発

##### (1) WSS 日本語版の概要とデータ蓄積

2013 年にニュージーランドで開発 (Fadyl J et al 2015) された就労支援の評価ツール Work-ability Support Scale (以下、WSS) 日本語版を作成した。

WSS は、支援者が対象者の職業能力を観察式で簡便に評価することが可能なツールである。WSS は、Part A と Part B の 2 部で構成され、Part A は身体機能や認知機能等の 15 領域 (7 件法)、Part B は個人特性や職場環境等の 2~3 領域 (3 件法)、合計 194 点満点 (再就職の場合は 191 点満点) で採点を行う (表 1)。

本研究では、高次脳機能障害の就労支援経験豊富な 3 施設に研究協力を得てデータの蓄積を行った。

対象は、高次脳機能障害を呈し、就労を希望している者を対象とした。施設利用開始時に WSS 日本語版 1 回目を支援者が実施 (初期評価) し、施設利用終了時に WSS 日本語版 2 回目を支援者が行い (最終評価)、初期評価と最終評価の 2 群間の WSS 日本語版の得点について、正規性 (Shapiro-Wilk 検定) の結果に応じて、対応のある t 検定または Wilcoxon の符号順位和検で処理を行った。検定の有意水準は 5% とし、データ解析には R2.15.1 を用いた。

#### (2) 研究期間

2020 年 5 月 1 日~2021 年 1 月 29 日

#### (3) 研究協力施設

- ・名古屋市総合リハビリテーションセンター
- ・新潟県障害者リハビリテーションセンター
- ・フロイデ工房 しろさと

#### 2. T/PAL 評価手順マニュアル翻訳作業

## (1) 概要

WSS 日本語版の観察式の評価ツールだけでは、対象者の職業能力を包括的に把握するには限界があるため、ワークサンプル法に基づいた評価ツールとして、米国で開発された Therapists' Portable Assessment Lab (以下、T/PAL) の評価手順マニュアルの翻訳作業を業者依頼した。

## (2) 作業期間

2020年11月5日～2021年2月8日

## 3. 倫理面への配慮

研究目的、研究方法、研究内容、研究対象者にもたらされる利益および不利益、個人情報保護、研究成果の公表、研究協力の任意性と撤回の自由、研究終了後の対応について、対象者に対する説明を書面と口頭で行い、質問に答える時間を十分に設けた。本研究は、新潟医療福祉大学倫理委員会において審査を受け、承認を得て実施した（承認番号 18325-191220）。

## C. 研究結果

### 1. WSS 日本語版のデータ蓄積

24 事例が蓄積された。男性 21 名、女性 3 名、平均年齢は 46.8 (10.5) 歳、疾患名は、脳梗塞 10 名、脳出血 5 名、頭部外傷 3 名、てんかん 2 名、水頭症等が 1 名であった。身体機能は、運動麻痺なし 12 名、片麻痺 11 名、四肢麻痺 1 名、感覚障害は、なし 14 名、あり 10 名であった。就労の希望は、復職希望が 15 名、再就職 9 名であった（表 2）。

帰結した者 9 名において、初期評価と最終評価の 2 群間の WSS 日本語版の得点について、正規性 (Shapiro-Wilk 検定) の結果に応じて、対応のある t 検定または Wilcoxon の符号順位和検で処理を行った結果、Part A の社会的/行動的側面 (効果量 (d) = 0.91, p = 0.03) と総得点 (Part A+B) (効果量 (d) = 0.87, p = 0.03) において有意差を認めた（表 3）。

各帰結の WSS 日本語版の総得点は、再就職は初期 137.3 点、最終 144.0 点、復職は初期 134.5 点、最終 142.5 点、障害福祉サービス（就労継続支援 B 型、就労移行支援事業）は、初期 126.0 点、最終 130.0 点であった（表 4）。

### 2. T/PAL 評価手順マニュアル翻訳作業

翻訳業者依頼にて、T/PAL 評者手順マニュアルの翻訳作業が終了した（別添）。

## D. 考察

本研究では、高次脳機能障害者に対する新たな職業評価ツールとして WSS 日本語版のデータ蓄積と T/PAL の翻訳作業を実施した。

WSS 日本語版は 24 事例のデータが蓄積され、その内 9 事例が本研究期間の中で帰結に至った。9 事例の中での WSS 日本語版の初期評価と最終評価時の得点変化としては「身体的側面」と「認知的側面」の変化が見られなかったが「社会的/行動的側面」の変化がみられた。現段階のデータ数では「社会的/行動的側面」の向上が就労を促進する要因となったのか説明する根拠が示せないが、今後さらにデータを蓄積し、就労を達成する上で重要な要因の検証を行い、効果的な就労支援プログラムを検討していく。

各帰結の WSS 日本語版の総得点の比較においても、現段階ではデータ数が少なく比較検討するに至らないが、今後さらにデータを蓄積し、どのような要因の変化が就労の促進または阻害因子になるのかを検討していく。

T/PAL は、データ蓄積の期間を設けることが出来なかったため、今後健常者及び高次脳機能障害者のデータを蓄積し、健常者と高次脳機能障害者の比較検討を行っていく。

## E. 結論

本研究より、WSS 日本語版のデータが 24 事例蓄積され、本研究期間の中では 9 事例が帰結に至った。WSS 日本語版の初期評価と最終評価において「社会的/行動的側面」と WSS 日本語版の総得点に有意差を認めたが、データ数が少なく、それ以上の考察は困難であり、今後さらにデータを蓄積し、どのような変化が就労を促進するのかを検討していく。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

[学会発表]

北上守俊, 稲葉健太郎, 高野友美, 峯尾舞, 小泉智枝,  
西村仁美: 高次脳機能障害者における Work-ability  
Support Scale (WSS) 日本語版の開発－内容的妥当  
性の検討－. 第 20 回新潟医療福祉学会学術集会 Web  
開催 (2020 年 10 月 31 日～11 月 15 日)

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表1 Work-ability Support Scale (WSS) 日本語版

Table 1. パート A : 26 項目 (各項目 8 件法で評定)

No	身体的側面			評定	
				復職用	再就職用
1	身体/運動	粗大運動	仕事をするために必要な身体/運動能力 (例: 立ち上がる, 歩行, 物を持ち上げる等).		
2		巧緻動作	仕事をするために必要な身体/運動能力 (例: 角をそろえて紙を折る, 細かな部品を掴まむ等).		
3		バランス能力	仕事をするために必要な身体/運動能力 (例: 脚立に登って物をとる, 物を持ちながら運ぶなどの応用な動作等).		
4	感覚/知覚		仕事をするために必要な感覚/知覚 (例: 視覚, 聴覚, 触覚, 嗅覚) 能力.		
5	移動	職場内	職場内を移動する能力.		
6		職場外 (通勤を含む)	あらゆる所への移動や通勤をする能力.		
7	体力/ペース配分		通常の勤務日に始業~就業時間まで勤務できる体力.		
<b>認知的側面</b>					
8	認知機能	注意	仕事上, 必要とされることに注意を向ける能力.		
9		記憶	仕事上, 必要とされることを記憶する能力.		
10	計画/実行力		仕事上, 必要に応じて速やかに着手し, 計画, 実行する能力.		
11	問題解決		予期せぬ出来事に対処する能力, 及び事情が変化した際に自発的に問題を解決する能力.		
12	言語機能	言語表出 (書字を含む)	仕事上, 必要とされる言葉を表出する能力.		
13		言語理解 (読解を含む)	仕事上, 必要とされる言葉を聞いて理解する能力.		
<b>社会的/行動的側面</b>					
14	時間管理		時間を管理する能力 (遅刻しないように努める/決まった約束を遂行する等)		
15	接遇/マナー	身だしなみ	時間・場所・目的に合わせた服装・髪型を選択する能力. 洗顔・歯磨き・入浴を行い, 身体, 髪, 爪, ひげなどを清潔に保つ.		
16		言葉遣い	相手や状況に合わせた適切な言葉遣いをする能力.		
17	安全性		職場環境において自己と他者の安全に配慮し, 適切に振る舞う能力.		
18	対人面	クライアント/顧客	クライアント/顧客と, 仕事上における適切な関係性を保持する能力.		
19		同僚	同僚と, 仕事上における適切な関係性を保持する能力.		
20		上司/管理者	上司/管理者と, 仕事上における適切な関係性を保持する能力.		
21	指摘/変更		自身の間違いやエラーに対する, 周囲からの指摘への適切な訂正や変更を受容する能力.		
22	自己理解		自分の「得意な事と苦手な事」, 「強みと弱み」を把握する能力 (自己評価と他者評価の一致度).		
23	精神面の安定		感情のコントロールをする能力.		
24	作業能力	単純反復作業	作業工程の少ない作業を繰り返し行う能力 (例: 単純組立作業, 単一項目の単純 PC 入力)		
25		確認・手順作業	作業工程または確認事項が多い作業を行う能力 (例: 工程・注意点の多い組立作業, 複数項目・いくつかのルールのある PC 入力).		

26	判断工夫を伴う作業	臨機応変な対応が求められる作業を行う能力。		
----	-----------	-----------------------	--	--

Table 2. 採点：パート A

自力で働ける	
7点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲からの支援は不要。</li> <li>・仕事の生産性に影響なし。</li> </ul>
6点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲からの支援は不要だが、福祉用具や自助具、代償手段の利用が必要。</li> <li>・仕事の生産性が僅かに低下。</li> </ul>
支援があれば働ける	
5点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り又は声掛けが時々必要。</li> <li>・労働量や時間管理への配慮、環境調整など、構造化された職場環境が必要。</li> </ul>
4点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最小の支援が必要。</li> <li>・該当項目の75%以上は実施可能。</li> <li>・予定通りの支援のみで業務が可能。</li> <li>・仕事の生産性に少し影響あり。</li> </ul>
3点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中等度の支援が必要。</li> <li>・該当項目の50%以上75%未満は実施可能。</li> <li>・予定外の支援が時々必要。</li> <li>・仕事の生産性にやや影響あり。</li> </ul>
2点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最大の支援が必要。</li> <li>・該当項目の25%以上50%未満は実施可能。</li> <li>・予定外の支援が頻繁に必要。</li> <li>・仕事の生産性に深刻な影響あり。</li> </ul>
1点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事が困難又は25%未満は実施可能。</li> </ul>
0点（採点不能）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な情報が得られないため、採点不能。より詳細な情報が必要。</li> </ul>

Table 3. パート B : 12 項目 (各項目 3 件法で評定)

No	個人要因	評定	
		復職用	再就職用
1	自信	仕事を遂行する能力に適度な自信があるか？	
2	プライベートの支援	友人や家族から職場復帰に向けてサポートを受けているか？	
3	意欲	物事への取り組みに対する積極性や改善努力をする前向きな姿勢。	
<b>環境要因</b>			
4	同僚のサポート	職場復帰に向けて、同僚からのサポートはあるか？	
5	雇用主との連絡	職場復帰に関して、本人あるいは家族が雇用主または上司と連絡を取り合っているか？	
6	雇用主の意向	雇用主または上司は職場復帰を前向きに捉えているか？（例：職場の人的・物的な環境調整など）	
7	職業上のサポート/リハビリ	職場復帰をコーディネートする支援サポートはあるか？（例：就労支援機関や医療機関などからのサポート）	
<b>職場復帰への障害</b>			
8	問題となり得る可能性のある生活活動	職場復帰及び職務遂行上、問題となりうる仕事以外の課題があるか？（例：反社会的勢力やヘビースモーカー、過度な宗教活動等）	
9	経済的な問題	経済的問題（例：休職又は求職中の所得補償がない）はあるか？	
10	法的な問題	職場復帰することに障害となる法的な問題があるか？（例：係争中の訴訟）	
11	その他のプラス要因	職場復帰又は仕事を継続することに影響を及ぼす、プラス要因があるか？	
12	その他のマイナス要因	職場復帰又は仕事を継続することに影響を及ぼす、マイナス要因があるか？	

Table 4. 採点：パート B

採点	説明
+1 点	プラス効果
	・どちらとも言えない
0 点	・よくわからない
	・該当なし
	・より詳細な情報が必要
-1 点	マイナス効果

表2 WSS 日本語版事例の基本属性

	内容	人数 (N=24)
性別	男性	21名
	女性	3名
年齢 Mean (SD)		46.8 (10.5) 歳
疾患	脳梗塞	10名
	脳出血	5名
	頭部外傷	3名
	てんかん	2名
	水頭症/低酸素脳症/びまん性軸索損傷/硬膜動静脈瘻	各1名
就労希望	復職	15名
	再就職	9名
	運動麻痺なし	12名
身体機能	片麻痺	11名
	四肢麻痺	1名
感覚障害	なし	14名
	あり	10名



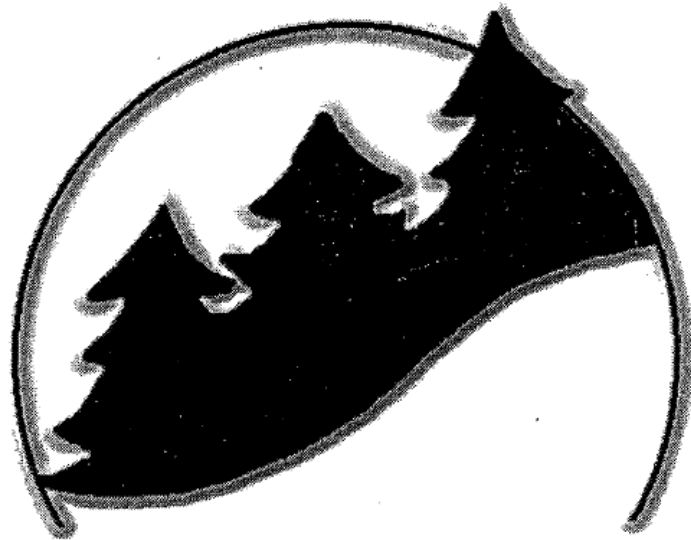
表3 WSS 日本語版の初期評価と最終評価の得点の変化

	初期評価 (n=9)	最終評価 (n=9)	効果量 (d)	p 値
<b>Part A</b>				
身体的側面	41.2 (6.9)	41.9 (7.1)	0.48	0.20
認知的側面	22.8 (5.6)	24.8 (5.8)	0.69	0.07
社会的行動的側面	63.8 (11.9)	70.6 (9.1)	0.91	0.03
<b>Part B</b>				
個人因子・環境因子・職業復帰への障害	5.8 (2.7)	7.1 (2.6)	0.51	0.15
総得点 (Part A+B)	133.6 (19.7)	144.3 (18.9)	0.87	0.03

表4 各帰結のWSS日本語版の初期評価と最終評価の得点の変化

	初期評価 (n=9)				最終評価 (n=9)					
	Part A			Part B	総得点	Part A			Part B	総得点
	身体	認知	社会行動	身体		認知	社会行動			
再就職 (n=3)	44.0 (4.4)	22.0 (1.7)	66.0 (11.5)	5.3 (0.6)	137.3 (13.3)	45.3 (3.5)	23.7 (3.5)	71.7 (11.1)	7.0 (1.7)	144.0 (18.5)
復職 (n=4)	42.5 (8.5)	21.8 (8.3)	63.3 (16.4)	7.0 (3.9)	134.5 (29.3)	43.0 (8.8)	24.3 (8.3)	71.0 (11.2)	8.5 (2.6)	142.5 (27.9)
障害福祉 サービス (n=2)	34.5 (0.7)	26.0 (2.8)	61.5 (6.4)	4.0 (0.0)	126.0 (2.8)	34.5 (0.7)	27.5 (4.9)	68.0 (4.2)	4.5 (2.1)	130.0 (4.2)

# 入門及び作業能力サンプル



パイニー・マウンテン・プレス・インク



パイニー・マウンテン・プレス・インク

1. 序論	
A. 目的－標的母集団	1
B. 基礎－開発背景・構成	1
C. 物理的設計	3
2. 評価プロセス	
A. 情報収集	4
B. 補助用具	4
C. 実践型モジュール・作業能力サンプル	5
D. 行動観察	5
E. 解釈及び追跡調査	5
3. 実施ガイドライン	7
4. データ収集、採点、レポート作成の手順	9
5. データ・レポート・プロフィール記入用紙	11
6. 実践モジュール・作業能力サンプル	14
A. 郵便物仕分け	14
B. アルファベット順並び替え	17
C. 視覚迷路	20
D. 給与計算	24
E. 患者情報メモ	29
F. 小部品	37
G. 定規の目盛りの読み取り	43
H. パイプ組み立て	48
I. Oリング	52
J. ブロック配置	55
K. 色仕分け	59
L. 回路基板	62
7. MTM表・基準表	66
8. 職業能力マトリックス	70
9. 付録	72
A. 用語の定義	A1
B. ソフトウェア資料	B1
C. 交換部品及び価格	C1

## 序論

### 目的：

療法士のためのポータブル技能評価モジュール（「ポータブル評価モジュール」という）は、相談者や患者の情緒的、認知及び精神運動能力を地域の職業訓練プログラムにおける能力要件と関連づけて評価を行うように考案されている。本評価は、相談者や患者がどの分野において職業上の能力があるか、あるいは職業上の支援を必要とするのか判断することを目的としている。その結果、改善やカリキュラム及び治療の変更を適切に行うことができる。本評価の結果から、評価者は患者向けの職業訓練プログラムの作成に役立つニーズ分析を得ることができる。

サイコロジカル・コーポレーション (Psychological Corporation) は テスト・サービス・ノートブック 13 (Test Service Notebook 13) の中で、有効性の定義を「テストがその使用目的に向けた役割を果たす範囲としている。この定義は、テストは評価すべきことを評価するという従来の範囲に比べ、より満足のいくものである。と言うのも、テストの有効性は常にその使用目的に特化しているからである。」ポータブル評価モジュールは、療法士及び教育者に対して、相談者や患者に通常の訓練プログラムで求められる技能に関連する作業を行う能力があるかどうかを形式張らず、威嚇しない形で評価を行う手段を提供するために使われるのであれば、その評価の整合性と有効性は保たれる。評価の結果は失敗や成功を予測するために用いられるべきではない。評価とそれに続く配置プロセスでは、相談者や患者が選んだ職業環境における彼らのニーズに主眼を置かなければならない。職業評価は相談者や患者の視野を狭めるのではなく、広げるべきなのである。

### 標的母集団：

本モジュールは軽度の障害のある若者に対して用いられるよう考案されている。閉鎖性頭部外傷や神経筋骨格系の外傷の患者など、他の母集団にも本評価が有効となり得る。モジュールの使用者は、本システムが職業訓練戦略の立案を支援するために作られていることを心に留めておかなければならない。

### 基礎

本システムは以下の出典からの要素に基づいている：労働適性部門、D-Map（評価と配置のための Dunn Model）、全米職業技術教育連合 (V-Tecs, Vocational-Technical Education Consortium of States)、州カリキュラムガイド (State Curriculum Guides)。本システムの基礎として使われる基準の一覧については、付録 A の用語の定義を参照。

### 開発背景：

初期の段階におけるプログラム開発は、米国ジョージア州のコブ群学校制度の特別支援評価研究室で行われた。立案者のミシェル・ロジネック (Michele Rosinek) 氏は、市販品と手製の評価器具を組み合わせたものを用いて、13 歳から 16 歳までの軽度の障害のある若者を対象に複数の評価を行った。1980 年にパイニー・マウンテン・プレス社 (Piney Mountain Press) はロジネック氏の研究室で使用されるモデルを基にした市販の評価システムの作成に向けて、同氏と契約を結んだ。

### 開発背景：(続き)

その段階で 15 のサンプルの試作品と準備段階のマニュアルが開発された。1981 年にはマニュアルの初版と実践型のサンプルが完成した。その頃、基準データを収集するための試験場が 6 カ所設けられた。基準に関する更なる情報は基準データの節に記載されている。

1982 年にパイニー・マウンテン・プレス社は、サンプルの規定時間標準 (MTM-1、Methods-Time Measurement) の策定に向け、メイナード・リサーチ・カウンシル (Maynard Research Council) と契約を結んだ。1987 年にイーストカロライナ大学のステファン・トーマス博士 (Stephen Thomas) により、測定の標準誤差、学習曲線と因子分析が割り出された (開発の経緯に関する詳細を入手するには技術情報マニュアルを請求すること)。

1992 年にパイニー・マウンテン・プレス社は、最初の製品を作業療法の市場のニーズに合った形にするため、ミンガン州バーミングハム市のボーモント・ホスピタル (Beaumont Hospital) の文学修士、作業療法士でライセンス・プロフェッショナル・カウンセラー (LPC) であるパール・ライト氏 (Pearl Wright) と契約を結んだ。これらの変更には実施マニュアルの改訂も含まれている。

### 構成：

ポータブル評価モジュールには、実施マニュアル 1 つ、補助検査 3 つ、12 の実践型モジュール即ち作業能力サンプル、コンピューター化された採点及びレポート作成システムが含まれる。サンプルはそれぞれ独立しており、任意の順番で自由な時間枠で実施することができる。その持ち運びの容易さから本モジュールはほぼどのような環境でも使用が可能である。

### 実施マニュアル：

実施マニュアルには評価プロセスに関わる全ての能力、適性及び行動が定義されている。また、一般的な実施ガイドライン、各サンプルの指示書、レポート作成手順、技術データ及びソフトウェア資料を網羅している。交換部品の価格表も含まれている。各指示書にはサンプルの目的、必要な用具、解釈、実施と採点に関する指示についての詳細が記載されている。

### 補助検査：

- (1) 「学習スタイル調査票」－本評価手法は、情報収集、仕事環境及び表現の分野における相談者や患者の好みを判断するのに役立つ。本手法は、評価の中の実践部分で相談者や患者に最も適した指示の仕方を見極めるために、最初に実施されるべきである。
- (2) 「口頭指示検査」－本検査では、相談者や患者の簡単な口頭指示に従う能力について評価する。
- (3) 「職業評価バッテリー」－この包括的で自発的な調査票は作業領域、作業活動、適性、作業状況、インドア派・アウトドア派、身体能力、作業負荷、教育レベル、数学・言語、データ・人・物、作業環境、学科などの幅広い要因を考慮する。

## 実践型モジュール・作業能力サンプル

1. 郵便物仕分け：相談者や患者はあらかじめ宛名が書かれた 100 通の郵便物を郵便番号ごとに仕分ける（視覚識別）。
2. アルファベット順並び替え：相談者や患者はあらかじめ宛名が書かれたカードを名前のアルファベット順に整理する（書記的知覚）。
3. 視覚迷路：相談者や患者はエッチ・ア・スケッチ（Etch A Sketch、1950 年代に発明されたお絵かきボード）の上に重ねた迷路を、ノブを回してなぞる（視覚運動協応）。
4. 給与計算：相談者や患者は電卓を使って給与を計算する（書記的・数理的）。
5. 患者情報メモ：相談者や患者は書面での指示に従い、情報を分析し書き写す（書面での指示に従う）。
6. 小部品：相談者や患者は手と小型の手工具を用いて盤の上で小さい物体を操作する（微細運動協応）。
7. 定規の目盛りの読み取り：相談者や患者はあらかじめ決められた線の長さを測り、指定された長さの線を引く（計測技能）。
8. パイプ組み立て：相談者や患者は手工具を用いてパイプと接続金具を組み立てる（手腕の器用さ）。
9. Oリング：相談者や患者はサイズによって物体を分類する（形態知覚）。
10. ブロック配置：相談者や患者はブロックを使って図案と同じ配置を組み立てる（空間知覚）。
11. 色仕分け：相談者や患者は 7 つの異なる色のパターンで 50 枚のカードを仕分ける（色知覚）。
12. 回路基板：相談者や患者は色分けされた図に従って回路の配線を行う（図式化された指示に従う）。

### 物理的設計

包装：療法士のためのポータブル評価モジュールは、簡単に動かせるように作られたキャスター付きの木の箱に納められている。作業ごとにラベル付きの仕切りの中に収納され、作業の実施に必要な全ての部品が含まれている。

消耗品：部品の大半は木、金属、プラスチック製である。唯一の消耗品は紙と鉛筆を使うテストと給与計算、定規の目盛りの読み取り、患者情報メモサンプル用の用紙である。全ての用紙とテストは購入者による複製が可能である。交換部品は出版社を通して定価で注文することができる（交換部品価格一覧表を参照）。

ソフトウェア・ハードウェア：各モジュールは手作業またはコンピューターを用いて採点することができる。

## 評価プロセス

職業評価プロセスでは、相談者や患者の興味、能力及び特別なニーズに関する継続的な評価を提供することに重点が置かれる。本プロセスにより、リハビリテーション過程を通して相談者や患者の技能を最大限まで高める計画が生み出されるだろう。

療法士のためのポータブル評価モジュールは、職業評価プロセスを始める際の助けとなるよう作られているが、それぞれの評価者や療法士は評価計画の作成に向けて自身のガイドラインと手順を確立しなければならない。従って、本モジュールは評価プロセスにおける唯一の手段としてではなく、全体計画に関連する情報を収集するための補足的な手法として使われるべきである。

### 情報収集：

データは\*初回面接において相談者や患者から得ることができる。更なる情報は学校の成績や診断書などからも得られる。

### 補助用具：

テストは任意の順番で実施することができる。テストは状況に応じて、\*集団または個別に行ってもよい。全てのテストの実施には最長で4時間かかり得る。各テストのスコアはテストの実施マニュアルに記載されている。スコアは換算の上、データ・レポート・プロフィール記入用紙Bに記録される。

各テストの目的はそれぞれのマニュアルに記載されている。テストと用具についての簡単な説明は以下の通りである。

学習スタイル調査票：本評価では学習の好みを判断する。これによって療法士と相談者や患者の双方が学習方法を個別化し、理解を深めるよう導く。本調査票は、理論上は学生向けであるが、他の母集団にも用いることができる。調査票は3つの分野に分かれている。

- (1) 情報収集（聴覚言語、聴覚数字、視覚言語、視覚数字、聴覚・視覚・身体感覚）
- (2) 作業環境（グループで学習する人、個人で学習する人）
- (3) 表現の好み（口頭表現、文書表現）。調査票では自己報告の形式で、相談者や患者の感情を最も良く反映する各人の意見の順位づけを行う。

結果はデータ・レポート・プロフィール記入用紙BのB行に記録することができる。

職業評価バッテリー：この包括的で自主的な調査票は作業領域、作業活動、適性、作業状況、インドア派・アウトドア派、身体能力、作業負荷、教育レベル、数学・言語、データ・人・物、作業環境、学科などの幅広い要素を考慮する。

結果はデータ・レポート・プロフィール記入用紙Aに記録できる。



## テスト：(続き)

口頭指示検査 (ADS、Auditory Directions Screen)：口頭指示検査は、参加者がリスニング力を必要とする作業を適切に実施することができるかどうかを判断する口頭指示の検査である。相談者や患者はあらかじめ録音されたカセットテープを聞き、求められた情報を解答用紙に記入する。スコアが低い場合は、相談者や患者が口頭の指示に従うことに問題があり、その改善と別の指示方法（視覚や実演）に重点をおくべきことを示唆している。結果はデータ・レポート・プロフィール記入用紙 B の A 行に記録される。

## 実践型モジュール・作業能力サンプル：

これらは職業訓練に必要な技能に関係する体験活動である。12 種類のモジュールがあり、完了するのにおよそ 1 時間半から 3 時間を要する：(1) 郵便物仕分け (2) アルファベット順並び替え (3) 視覚迷路 (4) 給与計算 (5) 患者情報メモ (6A) 小部品 (6B) 小部品 (7) 定規の目盛りの読み取り (8) パイプ組み立て (9) Oリング (10) ブロック配置 (11) 色仕分け (12) 回路基板。これらは時間枠次第でどの順番で実施してもよい。結果はモジュールごとにデータ・レポート・プロフィール記入用紙 A に記録される。

本評価の内、この部分に関する詳細な情報については、マニュアルの実施ガイドライン、個々の指示書及び技術データを参照。

## 行動観察：

一般的に評価プロセス全体を通じて、職務行動について表示されるべきである。職務行動プロフィール作成にあたっては、テスト中の直接的観察と同様に既存の記録や面談を活用する。以下の職務行動はデータ・レポート・プロフィール記入用紙 B に記録できる。

外見  
コミュニケーション能力  
持続  
規則及び指示遵守  
自発性  
対人関係特性  
割り当てられた作業に対する反応  
安全意識

## 解釈と追跡調査：

データの記録と評価を行った後で、相談者や患者が強みをもつ職業分野の特定に向けた提案を行うことができる。他の専門職の療法士、リハビリテーションや職業のカウンセラー、教師などとの相談が必要となる。

## 解釈と追跡調査：(続き)

テストの再実施は、相談者や患者が反復によって能力を向上できるかどうかを判断する方法になり得る。ただし、基準が有効でなくなる点に留意すべきである。作業サンプルは、相談者や患者が職業分野で成功する潜在能力を持つかどうかを示すためによく用いられる。利用できる適切な改善策はいくつかある。相談者や患者に簡単には改善できない苦手分野がある場合は用具を改造してもよい。学習教材または他の訓練方法も特定し得る。

相談者や患者の能力がどのように職業プログラムに関係するかを判断する理想的な方法は、本モジュールに含まれる職業能力マトリックスを活用することである。職業能力マトリックスは地域の訓練プログラムの要件に基づいて作成される。マトリックスはコンピューターがあってもなくても用意できる。コンピューター版の方が手作業で行うやり方よりはるかに簡単なので、できればコンピューターを使用する。相談者や患者の能力を特定の訓練プログラムの要件と比較することで、個々のニーズについての理解が得られる。これらのニーズに基づいて改善や修正を進めることが可能となる。

テスト結果を基に職業計画を作成する際は、細心の注意をぶじにはらうべきである。提案は、予測的な性質というよりむしろ指示的な性質を持つべきである。能力マトリックスによって生じる相関性は、必要となる分野の特定に向けて使用者を導くだけなので、その後の追跡調査を行うことで、相談者や患者がうまく職業プログラムを特定するのを助ける。

療法士のためのポータブル評価モジュールは、職業能力に関連するあらゆる要素を評価するとは主張していない。職業プログラムを通じて相談者や患者の進歩に影響を及ぼす特性、技能、適性、行動及び訓練条件は無限にある。出版社は本評価モジュールが訓練に関する多くの重要な要素を考慮していると考えるが、評価者に時間とリソースがあるのであれば、更なる情報の入手がもちろん望ましい。この追加情報には米国労働省職業辞典 (DOT, Dictionary of Occupational Titles) の特性、興味、作業の身体的負荷、気性、環境要因が含まれ得る。

## 実施ガイドライン

### 設定：

モジュールは明るい室内で、水平で明るい色の平面の上で実施する。評価モジュールは治療室や教室で実施してもよい。持ち運びがし易いため、療法士はほぼあらゆる環境でモジュールを使用できる。

### 順番：

モジュールはどの順番で行っても、評価者または相談者や患者が必要な限りの多期間内で実施してもよい。モジュールは再評価の実施、または前回の評価の検証のために活用することもできる。

### 事前説明：

相談者や患者には、評価の範囲と目的、参加者に求められる事について、事前に十分な説明を行う。相談者または患者に評価システムの異なるモジュールを簡単に経験させる。評価の主な目的は、相談者や患者の職業上の強みを見極め、彼らの職業訓練プログラムでの成功を助けることにありと説明する。スコアの判定ではスピードと正確さが同程度に重要な要素となることを強調する。各人は誤りの数を最小限に抑えつつ、素早く作業を行わなくてはならない。

### 指示：

指示は口頭及び実演によって行う。常に事前の練習を認め、テストの前に相談者や患者が作業を行うのに必要な概念を理解していることを確認する。指示は一度以上与えることができ、特別なニーズと学習スタイルに対応するために変更を加えてもよい。

### 時間及び誤答の採点：

相談者や患者が特定のテストモジュールについての指示を理解したら、制限時間を設けた部分から始める。データ・レポート・プロフィール記入用紙 A に分と秒単位で時間を記録する。ストップウォッチを使う場合は合計時間を記入する。腕時計か壁時計を使う場合は開始時間と終了時間を記入する。制限時間を設けた部分では、手助けはしない。相談者や患者には、各指示書とデータ・レポート・プロフィール記入用紙に示された最長時間に達するまで作業することを認める（無用な不安を与えるかもしれないので、彼らに最長時間のことは伝えない）。指示書に記載された採点手順に従い、採点用補助器具を用いて誤答の数を判定する。

### 行動評価：

自発性や持続などの職務行動についての観察は評価全体を通して行われるべきであるが、評価を行う時間が限られているため、広義で一般的な評価のみが適している。行動に関する追加情報は他の紹介元から入手してもよい。

再実施：

相談者や患者が競争力のあるスコアを獲得できるかどうか判断するためにモジュールを再実施してもよい。

記述情報：

データ・レポート・プロフィール記入用紙 A の裏に記述式のコメントを記入する。

## データ収集、採点、レポート作成の手順

### データ収集：

データ・レポート・プロフィール記入用紙 B を確認し、以下の手順に従う。

1. 相談者や患者の氏名、住所等を記入する。
2. A 行には興味検査の結果を入れることができる。
3. B 行には口頭指示検査の結果を入れることができる。
4. D 行には学習スタイル調査票の結果を入れることができる。

### 採点及びレポート作成：

1. データ・レポート・プロフィール記入用紙 A の 2 列目に、開始と終了時間を分・秒単位で記入する。ストップウォッチを使う場合は合計時間のみを記入する。
2. 誤答の数を 4 列目に記入する。
3. コンピューターのソフトウェアプログラムを使用する場合は、ここで作業を止めてその後の手順を付録 B の資料で確認する。コンピューター・プログラムが必要な計算とレポート作成を行ってくれる。

採点とレポート作成を手作業で行う場合は、基準表（67～69 ページ）を参照する。該当するパーセンタイルを見つけるには、相談者や患者の時間を E 列に記載されたスコアと合わせ、表の中の該当するパーセンタイルをデータ・レポート・プロフィール記入用紙 A の 5 列目に記入する。

4. 各モジュールの合計スコアを得るには、時間と誤答のパーセンタイル（3・5 列目）を足して 2 で割る。結果は 6 列目に記入する\*。

\*注意：時間と誤答のパーセンタイルを合計することにより、相談者や患者の能力の正確な解釈は姿を変えてしまうおそれがある。時間と誤答のスコアのの違いに注意することが重要である。相談者や患者の時間スコアは、誤答率が低いことで標準となるかもしれないが、時間的に作業遂行は遅かった可能性がある。これは全体的な時間面での作業能力を改善させる必要があることを示している。

### プロフィール記入用紙：

1. 用紙のこの部分は手作業で採点する場合のみ使用する。コンピューター・プログラムはこれを自動で行う。
2. 相談者や患者の能力の図表プロフィールを得るには、まずデータ・レポート・プロフィール記入用紙 A のスコアの列を参照する。
3. 次に能力グラフのパーセンタイル部分を基準として使い、相談者や患者のスコアに近い線に点を置くことで各モジュールのパーセンタイルを示す。

プロフィール記入用紙：(続き)

4. 全てのスコアがグラフに記録されたら、定規を用いて点を線でつなぐ。相談者や患者の職務行動に関する評価を行う場合は、単に彼らの能力レベルを最も的確に定義する評価に丸をつける。データ・報告・プロフィール記入用紙 B の評価尺度が用いられる。評価は、評価者の観察及び相談者や患者に関する他の既存の情報に基づくべきである。

療法士のためのポータブル評価モジュールレポート

データ・レポート・プロフィール記入用紙 A・B

データ・レポート・プロフィール記入用紙 A

データ記入用紙	
氏名 _____	日付 _____
住所 _____	電話番号 _____
年齢 _____ 生年月日 _____	性別 _____ 最後に修了した学年レベル _____
肉体的、認知的または情緒的問題を記入 _____	
職業興味や修了課程を記入 _____	

レポート記入用紙						
1 モジュール	2 時間	3 %	4 誤答	5 %	6 スコア	7 能力
1. 郵便物仕分け	終了 _____ 開始 _____ 合計 _____					視覚識別
2. アルファベット 順並び替え	終了 _____ 開始 _____ 合計 _____					書記的・言語的・順序 づけ
3. 視覚迷路	終了 _____ 開始 _____ 合計 _____					視覚運動協応
4. 給与計算	終了 _____ 開始 _____ 合計 _____					書記的・数理的
5. 患者情報メモ	終了 _____ 開始 _____ 合計 _____					書面による指示に従う
6A. 小部分	終了 _____ 開始 _____ 合計 _____					微細運動機能
6B. 小部分	B1 終了 _____ 開始 _____ 合計 _____	B2 終了 _____ 開始 _____ 合計 _____	B1 と B2 の 合計			視覚と手の協調
7. 定規の目盛りの 読み取り	終了 _____ 開始 _____ 合計 _____					計測技能
8. パイプ組み立て	終了 _____ 開始 _____ 合計 _____					手腕の器用さ
9. Oリング	終了 _____ 開始 _____ 合計 _____					形態知覚
10. ブロック配置	終了 _____ 開始 _____ 合計 _____					空間知覚
11. 色仕分け	終了 _____ 開始 _____ 合計 _____					色識別
12. 回路基板	終了 _____ 開始 _____ 合計 _____					図式化された指示に従 う



データ・レポート・プロフィール記入用紙 B

データ記入用紙	
A. 口頭指示検査（口頭での指示に従う）	
1. 優れている    2. 標準以上    3. 標準    4. 標準以下    5. 改善の必要有	
B. 学習スタイル調査票	
主専攻 _____	
副専攻 _____	

プロフィール記入用紙						
モジュール	能力グラフ					職務行動
	改善の 必要有 0-9	標準 以下 10-33	標準 並み 34-65	標準 以上 66-89	優れて いる 90-100	評価尺度 1:優れている 2:標準以上 3:標準並み 4:標準以下 5:改善の必要有
1. 郵便物仕分け						1. 外見 1 2 3 4 5
2. アルファベット 順並び替え						2. コミュニケーション能力 1 2 3 4 5
3. 視覚迷路						3. 規則遵守 1 2 3 4 5
4. 給与計算						4. 持続 1 2 3 4 5
5. 患者情報メモ						5. 自発性 1 2 3 4 5
6A. 小部分						6. 対人関係特性 1 2 3 4 5
6B. 小部分						7. 割り当てられた作業に対 する反応 1 2 3 4 5
7. 定規の目盛りの 読み取り						8. 安全意識 1 2 3 4 5
8. パイプ組み立て						コメント
9. Oリング						
10. ブロック配置						
11. 色仕分け						
12. 回路基板						

## モジュール 1：郵便物仕分け

### 目的：

郵便物仕分けモジュールは、相談者や患者が視覚識別技能を使う作業を適切に実施できるかどうか評価することを目的としている。

### 用具・準備：

あらかじめ宛名が書かれた黄色のはがき 100 枚、郵便物の仕分け箱 1 つ

郵便物の仕分け箱を相談者や患者の前の平面に置く。はがきの束を仕分け箱のすぐ前に置く（テストを実施する前に、必ずはがきをよく混ぜておくようにする）。

### 作業：

相談者や患者に対して、はがきの郵便番号（番号を指さす）と仕分け箱の郵便番号が合うように、仕分け箱の細長い枠の中にはがきを入れるよう指示する。はがきは番号の真下の枠に入れる。練習として、相談者や患者が最初の 5 枚のはがきを整理するのを認める。相談者や患者が間違ったやり方ではがきを入れた時は正しいやり方を示して、制限時間を設けた部分が始める前に彼らが作業を理解するようにする。相談者や患者は残りのはがき（95 枚）を整理してスコアを得る。

与えられる最長時間は 17 分間である。

### 口頭での指示：

発言：はがきに書かれた郵便番号と郵便仕分け箱の番号が合うように、最初の 5 枚のはがきを箱に入れて下さい。

行動：番号を指さす。相談者や患者の作業を確認し、必要であれば追加の指示を与える。

発言：束の残りのはがきを仕分けて箱に入れて下さい。

発言：何か質問はありますか？準備はいいですか。始めて下さい。

## モジュール 1：郵便物仕分け

### 解釈：

視覚識別：文字と数字に目を通して処理し、短期の視覚性記憶を判断する能力

### 採点手順：

相談者や患者が誤った仕切り枠にはがきを入れる度に誤答が 1 つ記録される。はがきの端に正しく、または間違えて入れたことを示すマークを入れる。

## モジュール 1：郵便物仕分け

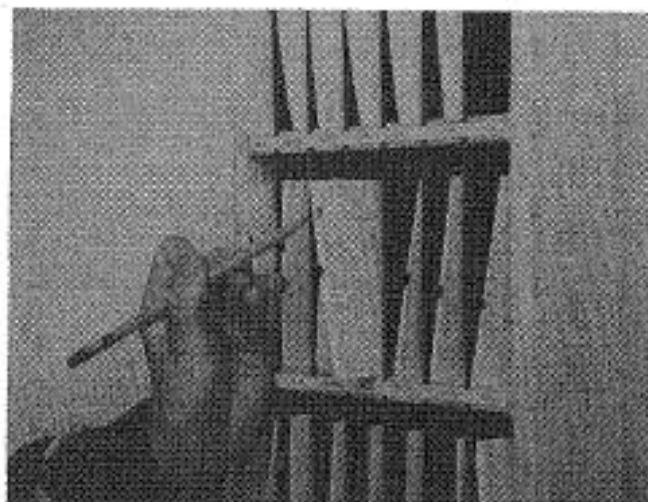
用具・準備:



作業:



採点手順:



## モジュール 2： アルファベット順並び替え

### 目的：

アルファベット順並び替えモジュールは、相談者や患者が書記的・書類整理、または順序づけの技能が求められる作業を適切に実施できるかどうか評価することを目的としている。

### 用具・準備：

あらかじめ宛名が書かれた白いはがき 50 枚、はがきの収納箱 1 つ、アルファベット順の仕切り 1 セット

仕切りをつけた収納箱を相談者や患者の前の平面に置く。仕切りは収納箱の中に置き、箱の後部に立てかけた状態にしておく。50 枚のはがきの束を収納箱の前に置く（はがきは必ず十分に混ぜておく）。

### 作業：

相談者や患者に、はがきに書かれた名字の最初の文字と仕切りの文字が合うように、仕切りの後ろにはがきを入れるように指示する。相談者や患者は同じ文字の仕切り内で、個々のはがきをアルファベット順に並べてはいけない。練習として、相談者や患者に最初の 5 枚のはがきを整理するのを認める。結果を確認し、制限時間を設けた部分を始める前に相談者や患者が作業を理解するようにする。相談者や患者が残りのはがき（45 枚）を整理するのにかかった時間を計る。

与えられる最長時間は 10 分間である。

### 口頭での指示：

発言：はがきに書かれた名字の最初の文字と仕切りの文字を合わせて、最初の 5 枚のはがきを収納箱の仕切りの後ろに入れて下さい。仕切りの各文字の後ろでは、個々のはがきをアルファベット順に並べないで下さい。

行動：相談者や患者の手順を確認し、必要であれば正しい手順を示す。

発言：束の中の残りのはがきを整理して下さい。何か質問はありますか？準備はいいですか。始めて下さい。

## モジュール 2： アルファベット順並び替え

### 解釈：

書記的・言語的：文書を順番に並べて処理する能力。コンピューターで打った言葉と文字に目を通して識別する能力。視覚運動協応の速度を測る能力。

### 採点手順：

相談者や患者が間違った仕切りにはがきを入れると、その度に誤答 1 つが記録される。相談者や患者が作業を終えたら、はがきと仕切りを分けずにそのまま取り外す。束の一番下を見て、順番通りでない印のついたはがきの数を数える（正しい順番と間違った順番については、次のページの図を参照）。順番通りでないはがきは 1 枚につき誤答 1 つとして数える。

## モジュール 2： アルファベット順並び替え

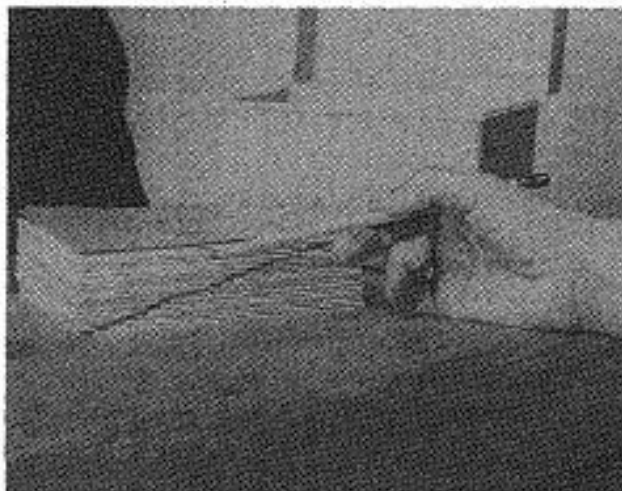
用具・準備:



作業:



採点手順:



### モジュール 3：視覚迷路

#### 目的：

視覚迷路モジュールは、相談者や患者が視覚運動協応を求められる作業を適切に実施できるかどうか評価することを目的としている。

#### 用具・準備：

エッチ・ア・スケッチ 1 式、プラスチック製の透明シート

エッチ・ア・スケッチの盤を相談者や患者の頭の真下に据えられた平面の上に置く。

#### 作業：

相談者や患者に盤の 2 つのノブを両手で回す方法を示す。相談者や患者がノブを操作して透明シート上に書かれた図をなぞるやり方を理解するのに十分な練習時間を与える。作業を開始する時は透明シート上で「始め」と書かれた場所まで線を動かす。盤を上下逆さまにし、前に書かれた線が全て消えるまで揺する。相談者や患者に透明シート上の線と交差しないようにしながら、始めから終わりまでなるべく早く図をなぞるよう指示する。

与えられる最長時間は 6 分間である。

#### 口頭での指示：

発言：両手をノブの上に置いて下さい。始めと言ったら、エッチ・ア・スケッチのノブを両手で回し、盤上の図をなぞって始めの位置から終わりの位置まで線を動かして下さい。図の線と交差しないようにできるだけ早く作業を行って下さい。

行動：相談者や患者に正しいやり方と誤ったやり方を描いた 23 ページの写真を示す。

発言：何か質問はありますか？準備はいいですか。始めて下さい。

#### 解釈：

視覚運動協応：視覚と手の協調、事前計画を立てる技能及び視覚運動技能を使う能力。持続的な集中力と注意力も要素となる。



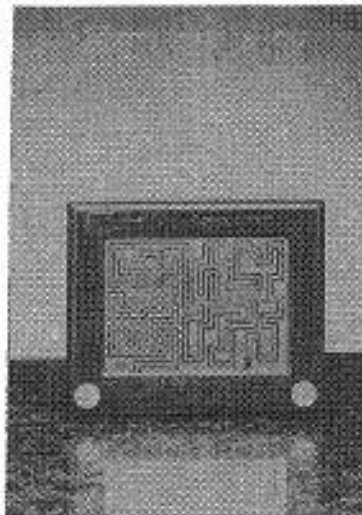
### モジュール 3：視覚迷路

採点手順：

エッチ・ア・スケッチの線が透明シートの線と交差する度に誤答 1 つとして数える。エッチ・ア・スケッチの線がそれ自体と交差するか、単に透明シート上の線に触れているだけであれば誤答として数えない。

### モジュール 3：視覚迷路

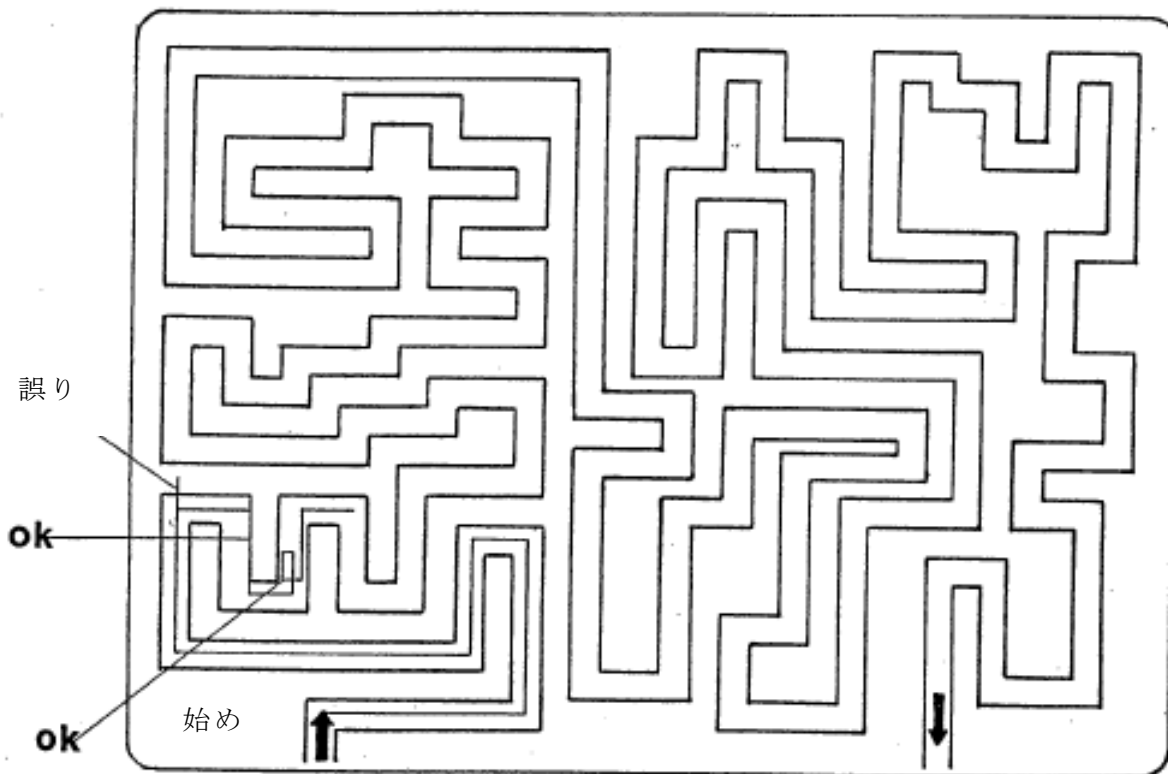
用具・準備：



作業：



モジュール 3 : 視覚迷路



## モジュール 4：給与計算

### 目的：

給与計算モジュールは、相談者や患者が書記的・数理技能を求められる作業を適切に実施できるかどうか評価することを目的としている。

### 用具・準備：

相談者や患者用の問題用紙 1 枚、プリンター電卓 1 つ

電卓と問題用紙を相談者や患者の前の平面に置く。問題用紙は相談者や患者の好みや利き手によって、電卓のどちら側に置いてよい。参加者が電卓の操作に不慣れな場合は正しい手順を実演して示す（電卓の使い方について疑問がある時は説明書を参照）。

### 作業：

制限時間を設けた作業を始める前に、相談者や患者に問題用紙のサンプル問題を使って練習をさせ、作業の進め方を理解してもらうようにする。開始前に電卓の電源が入っていることと、紙と小数点のスイッチが正しい位置にあることを確認する。

与えられる最長時間は 10 分間である。

### 口頭での指示：

発言：問題用紙の一番上に氏名を書いて下さい。それでは、用紙のサンプル問題を見て下さい。メアリー・ロバーツは 3.25 ドルの時給で 43 時間働きました。彼女の今週の基本給は 139.75 ドルでした。彼女の基本給を計算するには、その合計労働時間（43）と時給（3.25）を掛けます。電卓を使って合計を出して下さい。では第 2 問目のサンプル問題を解いて下さい。回答は給与総額の列に記入して下さい。

行動：相談者や患者に必要な追加の指示を与える。

発言：それでは用紙の残りの問題を全て解答して下さい。終了したらサンプル問題分を除く社員全員の 1 週間の給与総額を足し、問題用紙の一番下に合計を入力して下さい。何か質問はありますか？準備はいいですか。始めて下さい。

## モジュール 4：給与計算

### 解釈：

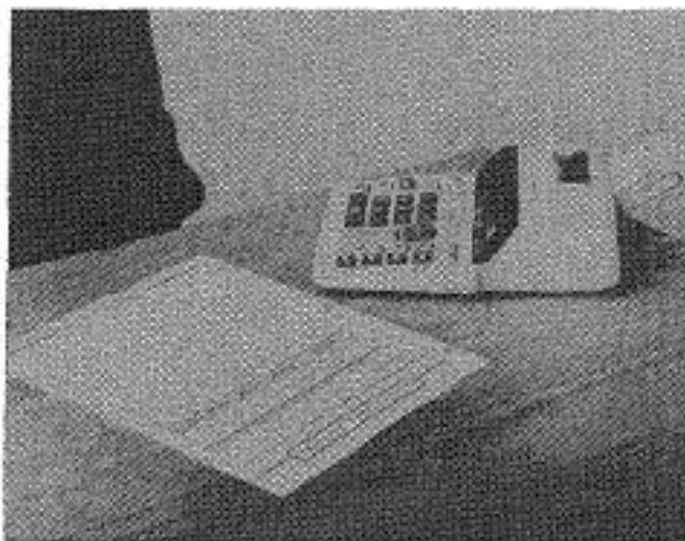
書記的・数理的知覚：数字の表形式の資料及び数の詳細を理解する能力。基礎的な数字計算を行う能力。細部にわたる注意が主要な要素である。

### 採点手順：

問題用紙に誤りが記入されると、その度に誤答 1 つが記録される。ただし、誤答として数えるのは 1 行につき 1 つだけとする。誤答の数は最大で 10 となる。

## モジュール 4：給与計算

用具・準備：



作業：



## モジュール 4：給与計算

-----給与計算問題用紙-----

相談者や患者氏名 \_\_\_\_\_

氏名	労働時間	時給	合計支払額
(サンプル) メアリー・ロバーツ	43	3.25 ドル	139.75 ドル
(サンプル) ボニー・ジェームズ	21	2.85 ドル	
*****中断*****	**中断**	**中断**	*****中断*****
1. デリンダ・ブラウン	40	3.85 ドル	
2. レベッカ・ヒル	39	3.35 ドル	
3. シャロン・ナイス	32	3.35 ドル	
4. キム・ジャクソン	40	3.60 ドル	
5. テリー・メッツ	38	3.90 ドル	
6. ロバート・モリス	40	5.00 ドル	
7. クリフ・ハンド	42	3.55 ドル	
8. サリー・スマイルズ	40	4.65 ドル	
9. アリス・ライト	38	5.15 ドル	
合計 =			

## モジュール 4：給与計算

-----給与計算問題用紙-----

### 解答用紙

氏名	労働時間	時給	合計支払額
(サンプル) メアリー・ロバーツ	43	3.25 ドル	139.75 ドル
(サンプル) ボニー・ジェームズ	21	2.85 ドル	59.85 ドル
*****中断*****	**中断**	**中断**	*****中断*****
2. レベッカ・ヒル	39	3.35 ドル	130.65 ドル
3. シャロン・ナイス	32	3.35 ドル	107.20 ドル
4. キム・ジャクソン	40	3.60 ドル	144.00 ドル
5. テリー・メッツ	38	3.90 ドル	148.20 ドル
6. ロバート・モリス	40	5.00 ドル	200.00 ドル
7. クリフ・ハンド	42	3.55 ドル	149.10 ドル
8. サリー・スマイルズ	40	4.65 ドル	186.00 ドル
9. アリス・ライト	38	5.15 ドル	195.70 ドル
合計			1,414.85 ドル



## モジュール 5：患者情報メモ

### 目的：

患者情報メモモジュールは、相談者や患者が書面での指示を理解し、解釈する能力が求められる作業を適切に実施できるかどうか評価することを目的としている。

### 用具・準備：

患者情報シート 1 枚、患者情報メモ用紙 3 枚

患者情報メモデータシートと問題用紙を参加者の前の平面に置く。相談者や患者が先がよくとがった鉛筆を 2 本持つようにする。

### 作業：

相談者や患者に問題用紙の指示を読むよう伝える。相談者や患者が指示を読むことができないか、あるいは理解できない場合は、この作業は実施しない。相談者や患者が指示を読んで何をすればいいか理解したことを確認した上で、制限時間を設けた作業を開始する。本作業にはおよそ小学校 6 年生程度の読解力レベルが求められる。作業を始める前に、問題用紙に氏名を書くよう相談者や患者に指示する。

与えられる最長時間は 27 分間である。

### 口頭での指示：

発言：患者情報メモデータシートに書かれた指示を読んで下さい。

行動：患者情報メモデータシートを指さし、指示を読むのに十分な時間を与える。

発言：自分が何をすればいいか分かりますか？ 3 枚の用紙全てにあなたの氏名を書いて下さい。

発言：(相談者や患者が名前を書き終えたら) 何か質問はありますか？ 準備はいいですか。始めて下さい。

## モジュール 5：患者情報メモ

### 解釈：

書面での指示を理解する：およそ小学校 6 年生程度の読解力レベルの簡単な文書を理解し、解釈する能力。細部にいたるまで注意して、書かれている情報を正確に置き換える能力。書式化された資料に目を通して処理することも求められる。

### 採点手順：

誤って記入する度に誤答 1 つが記録される。日付が記入された際にそれが正しい日付でなくても、誤答としては数えない。次のページの解答用紙で誤りを確認する。

## モジュール 5：患者情報メモ

用具・準備：



作業：



## モジュール 5：患者情報メモ

### データシート

#### 指示：

以下に示すのはヤング医師の新規の患者の氏名である。個々の患者について添付の患者情報メモを全て記入せよ。該当する情報がない場合は、その欄は空欄とする。始める前に、各用紙の一番上にあなたの名前と日付を記入すること。

#### 患者その 1：

ジェームズ・(ベッキー)・ブラウン夫人、〒30059 フロリダ州オーランド市  
ウェズリー・ロード 1570  
社会保障番号 879-67-5688、電話番号 661-7941  
生年月日：1952 年 9 月 19 日  
保険会社はノースカロライナ州サマースビル市のグローブズ・インシュアランス・カンパニー 証券番号 381267 グループ 19。  
最近親者は夫のジェームズ・ブラウン氏で、住所は同じである。彼はフロリダ州ドラビル市のユニオン・オイル・カンパニーに勤めている。

#### 患者その 2：

レイ・ラック氏 〒20056 カリフォルニア州マリエッタ市ヒル・ストリート  
321  
ラック氏は独身でカリフォルニア州マリエッタ市のエース・トラッキング・カンパニーに勤めている。社会保障番号 452-45-6712  
生年月日：1950 年 5 月 23 日 電話番号 427-5510  
保険会社はブルー・クロス・アンド・ブルー・シールド・インシュアランス・カンパニーで 証券番号 654234、グループ 12A。最近親者は父のリチャード・M・ラック氏で、カリフォルニア州スネルビル市ウィルズ・ドライブ 986 に住んでいる。

#### 患者その 3：

ジョン・(バーバラ)・ウェスト夫人 〒30329 ジョージア州アトランタ市チャーチ・ヒル・ロード 2239  
社会保障番号 432-56-7866 電話番号 954-4545  
生年月日：1928 年 6 月 26 日  
メディケア（米国の高齢者向け公的医療保険制度）番号 MC349543。ステート・ヘルスケア・コープの保険証券も持っており、証券番号 274381。  
ウェスト夫人は最近、未亡人となった。最近親者は姉のルース・ヘッド氏でジョージア州ヘレン市サークル・ドライブ 3659 に住んでいる。ウェスト夫人はコブ・カウンティ・スクールズで教員助手として働いている。

\* 以上は全て架空の人物であることに注意する。

## モジュール5：患者情報メモ

### 問題用紙

氏名 \_\_\_\_\_  
日付 \_\_\_\_\_

患者 \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_\_  
住所 \_\_\_\_\_ 社会保障番号 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
(郵便番号、州、市、番地)

既婚 \_\_\_\_\_ 独身 \_\_\_\_\_  
死別 \_\_\_\_\_ 離婚 \_\_\_\_\_

配偶者の氏名 \_\_\_\_\_

最近親者 \_\_\_\_\_ 住所 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
(郵便番号、州、市、番地)

保険会社 \_\_\_\_\_  
住所 \_\_\_\_\_

証券番号 \_\_\_\_\_ グループ番号 \_\_\_\_\_ 契約番号 \_\_\_\_\_  
メディケア番号 \_\_\_\_\_ 生活保護番号 \_\_\_\_\_

主治医 \_\_\_\_\_

雇用主（患者、夫または妻の） \_\_\_\_\_  
部門 \_\_\_\_\_

雇用主の住所 \_\_\_\_\_  
(郵便番号、州、市、番地)

モジュール5：患者情報メモ

解答用紙

氏名 \_\_\_\_\_

日付 \_\_\_\_\_ 今日の日付 \_\_\_\_\_

患者 \_\_\_\_\_ ベッキー・ブラウン \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 1952年9月19日 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_ 〒30059 フロリダ州オーランド市 \_\_\_\_\_

社会保障番号 \_\_\_\_\_ 879 - 67- 5688 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ ウェズリー・ロード 1570 \_\_\_\_\_

(郵便番号、州、市、番地)

既婚 \_\_\_\_\_ × \_\_\_\_\_ 独身 \_\_\_\_\_

死別 \_\_\_\_\_ 離婚 \_\_\_\_\_

配偶者の氏名 \_\_\_\_\_ ジェームズ・ブラウン \_\_\_\_\_

最近親者 \_\_\_\_\_ 夫 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_ 〒30059 フロリダ州オーランド市 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ ウェズリー・ロード 1570 \_\_\_\_\_

(郵便番号、州、市、番地)

保険会社 \_\_\_\_\_ グローブズ・インシュアランス・カンパニー、ノースカロライナ州サマース \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ ビル市 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

証券番号 \_\_\_\_\_ 381267 \_\_\_\_\_ グループ番号 \_\_\_\_\_ 19 \_\_\_\_\_ 契約番号 \_\_\_\_\_

メディケア番号 \_\_\_\_\_ 生活保護番号 \_\_\_\_\_

主治医 \_\_\_\_\_ ヤング医師 \_\_\_\_\_

雇用主 (患者、夫または妻の) \_\_\_\_\_ ユニオン・オイル・カンパニー \_\_\_\_\_

部門 \_\_\_\_\_

雇用主の住所 \_\_\_\_\_ フロリダ州ドラビル市 \_\_\_\_\_

(郵便番号、州、市、番地)

モジュール5：患者情報メモ

解答用紙

氏名 \_\_\_\_\_

日付 \_\_\_\_\_ 今日の日付 \_\_\_\_\_

患者 \_\_\_\_\_ レイ・ラック \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 1950年5月23日 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_ 〒20056 カリフォルニア州マリエッタ市 \_\_\_\_\_

社会保障番号 \_\_\_\_\_ 452 - 45- 6712 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ ヒル・ストリート 321 \_\_\_\_\_

(郵便番号、州、市、番地)

既婚 \_\_\_\_\_ 独身 \_\_\_\_\_ × \_\_\_\_\_

死別 \_\_\_\_\_ 離婚 \_\_\_\_\_

配偶者の氏名 \_\_\_\_\_

最近親者 \_\_\_\_\_ リチャード・M・ラック \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_ カリフォルニア州スネルビル市 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ ウィルズ・ドライブ 986 \_\_\_\_\_

(郵便番号、州、市、番地)

保険会社 \_\_\_\_\_ ブルー・クロス・アンド・ブルー・シールド \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

証券番号 \_\_\_\_\_ 654234 \_\_\_\_\_ グループ番号 \_\_\_\_\_ 12A \_\_\_\_\_ 契約番号 \_\_\_\_\_

メディケア番号 \_\_\_\_\_ 生活保護番号 \_\_\_\_\_

主治医 \_\_\_\_\_ ヤング医師 \_\_\_\_\_

雇用主（患者、夫または妻の） \_\_\_\_\_ エース・トラッキング・カンパニー \_\_\_\_\_

部門 \_\_\_\_\_

雇用主の住所 \_\_\_\_\_ カリフォルニア州マリエッタ市 \_\_\_\_\_

(郵便番号、州、市、番地)

モジュール 5：患者情報メモ

解答用紙

氏名 \_\_\_\_\_

日付 \_\_\_\_\_ 今日の日付 \_\_\_\_\_

患者 \_\_\_\_\_ バーバラ・ウェスト \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 1928年6月26日 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_ 〒30329 ジョージア州アトランタ市 \_\_\_\_\_

社会保障番号 \_\_\_\_\_ 432 - 56- 7866 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ チャーチ・ヒル・ロード 2239 \_\_\_\_\_

(郵便番号、州、市、番地)

既婚 \_\_\_\_\_ 独身 \_\_\_\_\_

死別 \_\_\_\_\_ × \_\_\_\_\_ 離婚 \_\_\_\_\_

配偶者の氏名 \_\_\_\_\_ ジョン \_\_\_\_\_

最近親者 \_\_\_\_\_ 姉、ルース・ヘッド \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_ ジョージア州ヘレン市 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ サークル・ドライブ 3659 \_\_\_\_\_

(郵便番号、州、市、番地)

保険会社 \_\_\_\_\_ ステート・ヘルスケア・コープ \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

証券番号 \_\_\_\_\_ 274381 \_\_\_\_\_ グループ番号 \_\_\_\_\_ 契約番号 \_\_\_\_\_

メディケア番号 \_\_\_\_\_ MC349543 \_\_\_\_\_ 生活保護番号 \_\_\_\_\_

主治医 \_\_\_\_\_ ヤング医師 \_\_\_\_\_

雇用主（患者、夫または妻の） \_\_\_\_\_ コブ・カウンティ・スクールズ \_\_\_\_\_

部門 \_\_\_\_\_

雇用主の住所 \_\_\_\_\_

(郵便番号、州、市、番地)



## モジュール 6：小部品 A

### 目的：

小部品 A モジュールは、相談者や患者が微細運動技能を用いる作業を適切に実施できるかどうか評価することを目的としている。

### 用具・準備：

座金 1 式（最低 24 個）、ピンセット 1 本、4 分の 3 インチの無頭釘 1 式（最低 12 本）、小部品モジュール用の盤 1 つ

小部品モジュール用盤のカバーを外して相談者や患者の前の平面に置く。相談者や患者の利き手を決める。

### 作業：

参加者にピンセットを使って座金を盤の溝に置くように指示する。座金を置いたら、ピンセットで無頭釘を座金の穴にはめ込み、それぞれの釘が最も近い座金一組の穴の間で支えられた状態にする。相談者や患者には最低 6 つの座金と 3 本の無頭釘を使った練習を認める。制限時間を設けた作業を始める前に、全ての座金と無頭釘を盤から外してトレイに戻す。相談者や患者はテーブルの上であれば、盤をどこでも好きな場所に置いてよい。

与えられる最長時間は 7 分間である。

### 口頭での指示：

発言：ピンセットを使ってトレイから座金を取り、盤の溝にうまくはまるように置いて下さい。

行動：座金を指さす。盤の溝を指さす。

発言：それではピンセットで無頭釘を取り、座金の穴にはめて下さい。

行動：無頭釘を指さす。

## モジュール 6：小部品 A

### 口頭での指示：(続き)

発言：それぞれの無頭釘は 2 つの座金の穴の中で支えられた状態になります。盤はテーブルの上のどこでも好きな場所に置くことができます。ここで練習として 6 つの座金を溝に置き、個々の座金 1 組の穴に無頭釘を 1 本入れて下さい。

(必要であれば、相談者や患者に追加の練習時間を与えてもよい。)

行動：相談者や患者が練習を終えたら、用具をトレーに戻す。

発言：練習の時と同じやり方で全ての溝を埋めて下さい。何か質問はありますか？準備はいいですか。始めて下さい。

### 解釈：

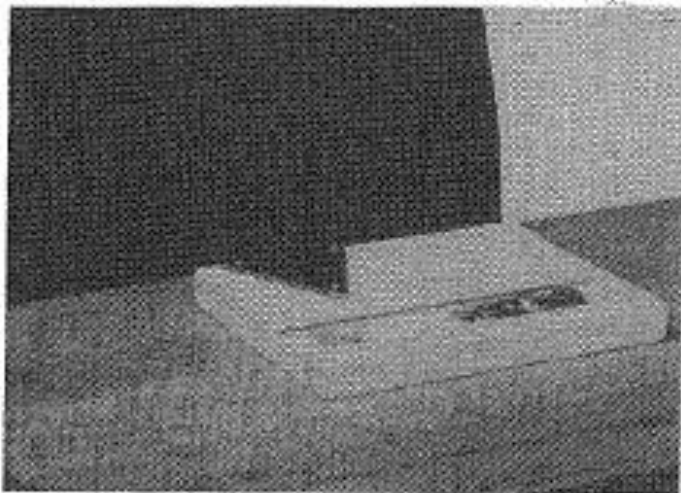
狙いを定める：手と小型の手工具を使う能力。視覚と手の協調及び微細運動技能も評価される。

### 採点手順：

本モジュールでは誤答の尺度はない。

## モジュール 6 : 小部品 A

用具・準備:



作業:



## モジュール 6：小部品 B

### 目的：

小部品 B モジュールは、相談者や患者が微細運動技能を用いる作業を適切に実施できるかどうか評価することを目的としている。

### 用具・準備：

小ねじ 1 式 (15 本)、ねじ回し 1 本、小部品用の盤 1 つ

小部品モジュール用の盤を相談者や患者の前の平面に置く。トレーからプラスチックのカバーを外す。

### 作業：

#### 第 1 部：

参加者に、指でねじをトレーから取り、金属プレートのどれでも好きな穴に垂直に置くよう指示する。次に、相談者や患者はトレーからねじ回しを取り、ねじをプレートに最後まで締めて取り付ける。相談者や患者は両手を使ってもよい。参加者には最低 3 本のねじを使った練習を認める。制限時間を設けた作業を始める前にねじをトレーに戻す。

第 1 部で与えられる最長時間は 6 分間である。

#### 第 2 部：

第 1 部にかかった時間を記録した後、相談者や患者が金属プレートからねじを取り外す時間を計る。相談者や患者にねじ回しでねじを緩めた後、残りの分は指でねじを回して外すように指示する。外れたら、相談者や患者はねじをトレーの上に置く。

第 2 部で与えられる最長時間は 12 分間である。

### 口頭での指示：

発言：指を使って、3 本のねじを垂直に立つように金属プレートの穴に置いて下さい。  
では、ねじ回しを取り、プレートにねじを最後まで締めて取り付けて下さい。  
両手を使っても構いません。

## モジュール 6：小部品 B

### 口頭での指示(続き)：

行動：練習用の作業が終わったら、ねじを外してトレーに戻す。

発言：ねじ回しでプレートのねじを緩めて下さい。その後、指でねじを外してトレーに戻して下さい。何か質問はありますか？準備はいいですか。始めて下さい。

### 解釈：

指・手と小型の手工具を使う能力。視覚と手の協調と微細運動技能も評価される。

### 採点手順：

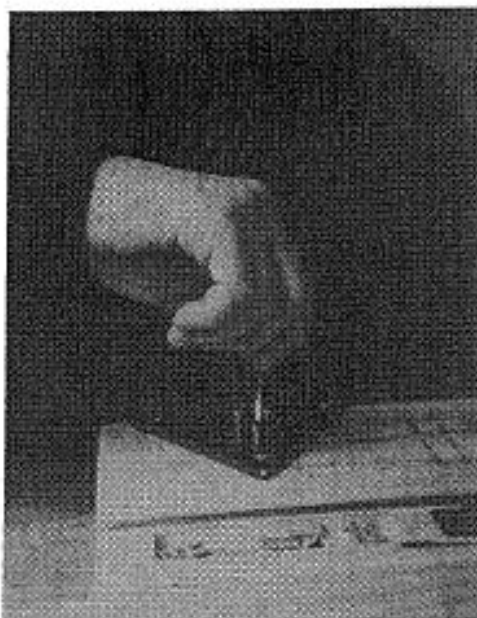
本モジュールでは誤答の尺度はない。

## モジュール 6 : 小部品 B

用具・準備:



作業:



## モジュール 7：定規の目盛りの読み取り

### 目的：

定規の目盛りの読み取りモジュールは、相談者や患者が計測技能を求められる作業を適切に実施できるかどうか評価することを目的としている。

### 用具・準備：

定規 1 本、問題用紙 1 枚、指示書 1 枚、先のとがった鉛筆 2 本

定規、問題用紙及び指示書を参加者の前の平面に置く。問題用紙を使って相談者や患者に定規の目盛りの読み方を教える。

### 作業：

相談者や患者が定規の使い方を理解しているかを確認するために、問題用紙の問題の中から 2 問を解いてもらう（彼らは何をすべきか分っていない場合は、その事実を記録した上で次のモジュールへと進む）。次に問題用紙を指さし、相談者や患者に定規を用いて一番上の欄の線の長さを測るよう指示する。参加者には近似値 16 分の 1 インチまで測るよう指示する。解答は 1、2、3、4 と書かれた欄に記入する。次に相談者や患者は定規を使って、問題用紙の左側に書かれた各寸法の長さの所に印をつける。印は線上に近似値 16 分の 1 インチの正確な寸法でつける。分数は最小公分母に通分する。相談者や患者は制限時間を設けた作業に取り組む間、指示書を手引きとして使ってもよい。

与えられる最長時間は 7 分 30 秒である。

### 口頭での指示：

発言：指示書を見て下さい。それでは定規と鉛筆を使って練習問題 1 の線の長さの所に印をつけて下さい。それから練習問題 2 の線の長さを測って答えを欄に書いて下さい。

行動：相談者や患者の作業を確認し、必要に応じて追加の指示を与える。

## モジュール 7：定規の目盛りの読み取り

### 口頭での指示(続き)：

発言：問題用紙を見て、自分の氏名をページの 1 番上に書いて下さい。ページの 1 番上の欄の線をそれぞれ測り、解答を 1、2、3、4 と書かれた欄に記入して下さい。  
近似値 16 分の 1 インチまで測って下さい。

発言：A、B、C、D 等と表記された次の問題の欄では、線上で正確な長さの所に印をつけて下さい。近似値 16 分の 1 インチまで測って下さい。

発言：何か質問はありますか？準備はいいですか。始めて下さい。

### 解釈：

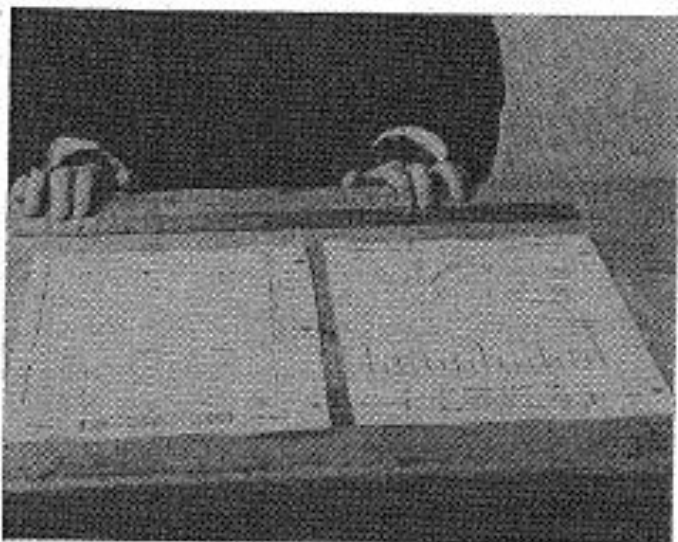
計測技能：算術演算を行う能力。また、視覚的に識別し、比較する能力。視覚運動協応技能も要素となる。

### 採点手順：

誤った計測はそれぞれ誤答 1 つとして採点される。長さを確認する際は 16 分の 1 インチの誤差は許容する。誤りを確認する補助として同封された透明フィルムを使う。



## モジュール7：定規の目盛りの読み取り



用具・準備：



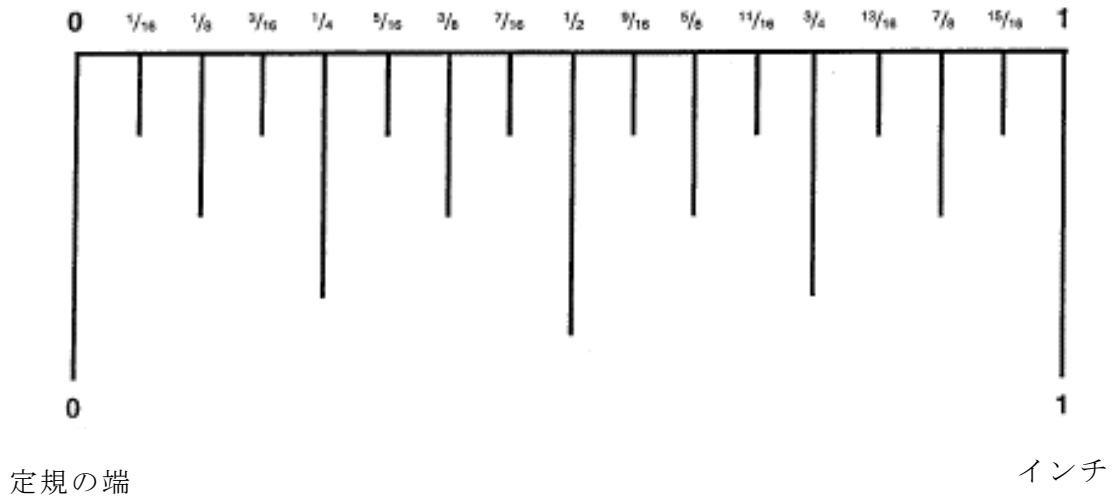
作業：



採点手順：

モジュール 7：定規の目盛りの読み取り

定規の目盛りの読み取り指示書



練習問題 | 1-  $2\frac{1}{4}$  \_\_\_\_\_

練習問題 | 2- \_\_\_\_\_

## モジュール 7 : 定規の目盛りの読み取り

問題用紙

氏名 : \_\_\_\_\_

以下の線を定規で測りなさい。

解答

	1.
<hr style="width: 40%; margin-left: 5px;"/>	2.
<hr style="width: 50%; margin-left: 5px;"/>	3.
<hr style="width: 30%; margin-left: 5px;"/>	4.
<hr style="width: 60%; margin-left: 5px;"/>	

線上で正確な長さの所に印をつけなさい。

- A.  $4 \frac{5}{8}$
- B.  $2 \frac{1}{2}$
- C.  $3 \frac{3}{16}$
- D. 1
- E.  $4 \frac{1}{2}$
- F.  $5 \frac{1}{4}$
- G.  $4 \frac{5}{16}$
- H.  $1 \frac{7}{8}$
- I. 3
- J.  $5 \frac{3}{4}$
- K.  $\frac{1}{2}$
- L.  $2 \frac{3}{16}$


モジュール7：定規の目盛りの読み取り

問題用紙

氏名： \_\_\_\_\_

以下の線を定規で測りなさい。

解答

	1. <b>3 1/4</b>
	2. <b>4</b>
	3. <b>2 1/4</b>
	4. <b>4 7/8</b>

線上で正確な長さの所に印をつけなさい。

A. $4 \frac{5}{8}$	
B. $2 \frac{1}{2}$	
C. $3 \frac{3}{16}$	
D. 1	
E. $4 \frac{1}{2}$	
F. $5 \frac{1}{4}$	
G. $4 \frac{5}{16}$	
H. $1 \frac{7}{8}$	
I. 3	
J. $5 \frac{3}{4}$	
K. $\frac{1}{2}$	
L. $2 \frac{9}{16}$	

## モジュール 8 : パイプ組み立て

### 目的 :

パイプ組み立てモジュールは、相談者や患者が手腕の器用さと手工具の使用を求められる作業を適切に実施できるかどうか評価することを目的としている。

### 用具・準備 :

パイプレンチ 1 つ、ねじ回し 1 本、パイプ栓 1 つ、ねじ 1 本、T 字管 1 つ、ボイラー配水口 1 つ、管継手 3 つ、曲がり管 2 つ、ナット 1 つ、口金 1 つ、図 1 枚

図と全ての金属製品を相談者や患者の前の平面に置く。図の前に金属製品をばらばらに並べる。

### 作業 :

相談者や患者に、図を見て完成時に図の通りになるように全ての部品を組み立てるよう指示する。相談者や患者は作業の間、部品を合わせてみるために、図の上に部品を置いてもよい。全ての部品はまず手を使って組み立てる。そして組み立てが終わったら、相談者や患者は必要に応じて、パイプレンチとねじ回しで全ての接続部分を締める。最終的な形状から、きつく締めなければいけない部分を推測してもらう。相談者や患者にはパイプレンチの正しい使い方を実演で示すと共に、継手と曲がり管の組み立ての練習を認める。

与えられる最長時間は 12 分である。

### 口頭での指示 :

発言 : 練習のため、継手を曲がり管に接続して下さい。

行動 : 継手と曲がり管を指さす。

発言 : 手を使って部品をねじで留めて下さい。その後、パイプレンチを使ってそれらを引き締めて下さい。

行動 : 必要であれば、相談者や患者にパイプレンチの正しい使い方を指導する。練習用に組み立てたものを取り外す。

## モジュール 8：パイプ組み立て

### 口頭での指示(続き)：

発言：図に従い、手を使って目の前にある全ての部品を組み立てて下さい。必要なら、部品が合っていることを確認するために部品を図の上に置いて構いません。

発言：全ての部品を組み立てたら、パイプレンチとねじ回しを使って全ての接続部分をきつく締めて下さい。締めた時に組立品は平らにならないかもしれませんが、それは問題ありません。

発言：何か質問はありますか？準備はいいですか。始めて下さい。

### 解釈：

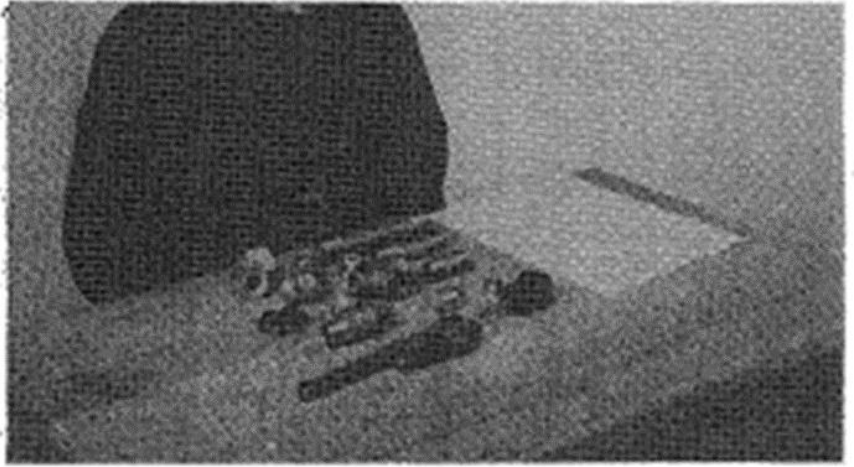
手腕の器用さ：手と手工具を使う能力。図を理解する能力。大きさと形の識別も要素となる。

### 採点手順：

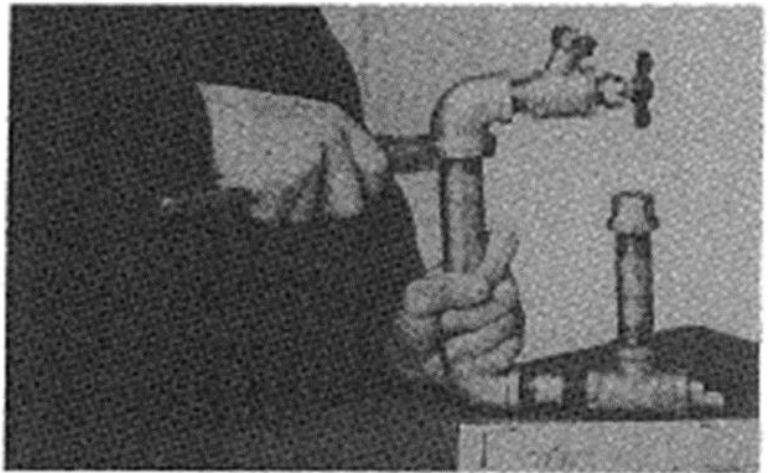
正しい順序が狂う度に誤答 1 つが採点される。道具が使用されなかった場合、誤答 1 つが採点される。1 つまたは複数の接続部分が緩かった場合に誤答 1 つが採点される。

## モジュール 8 : パイプ組み立て

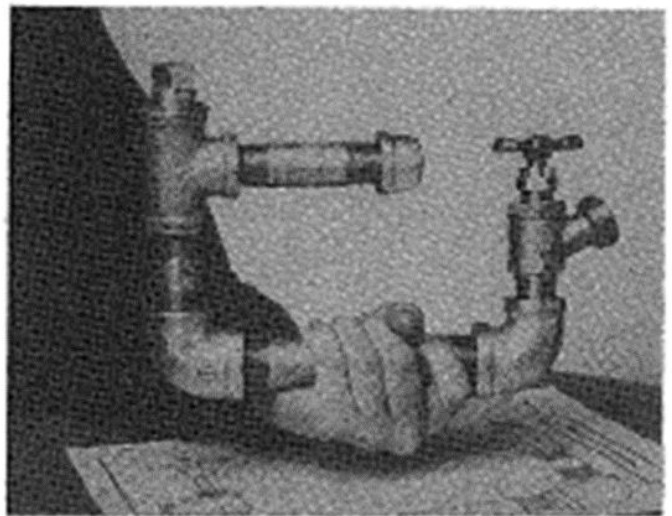
用具・準備:



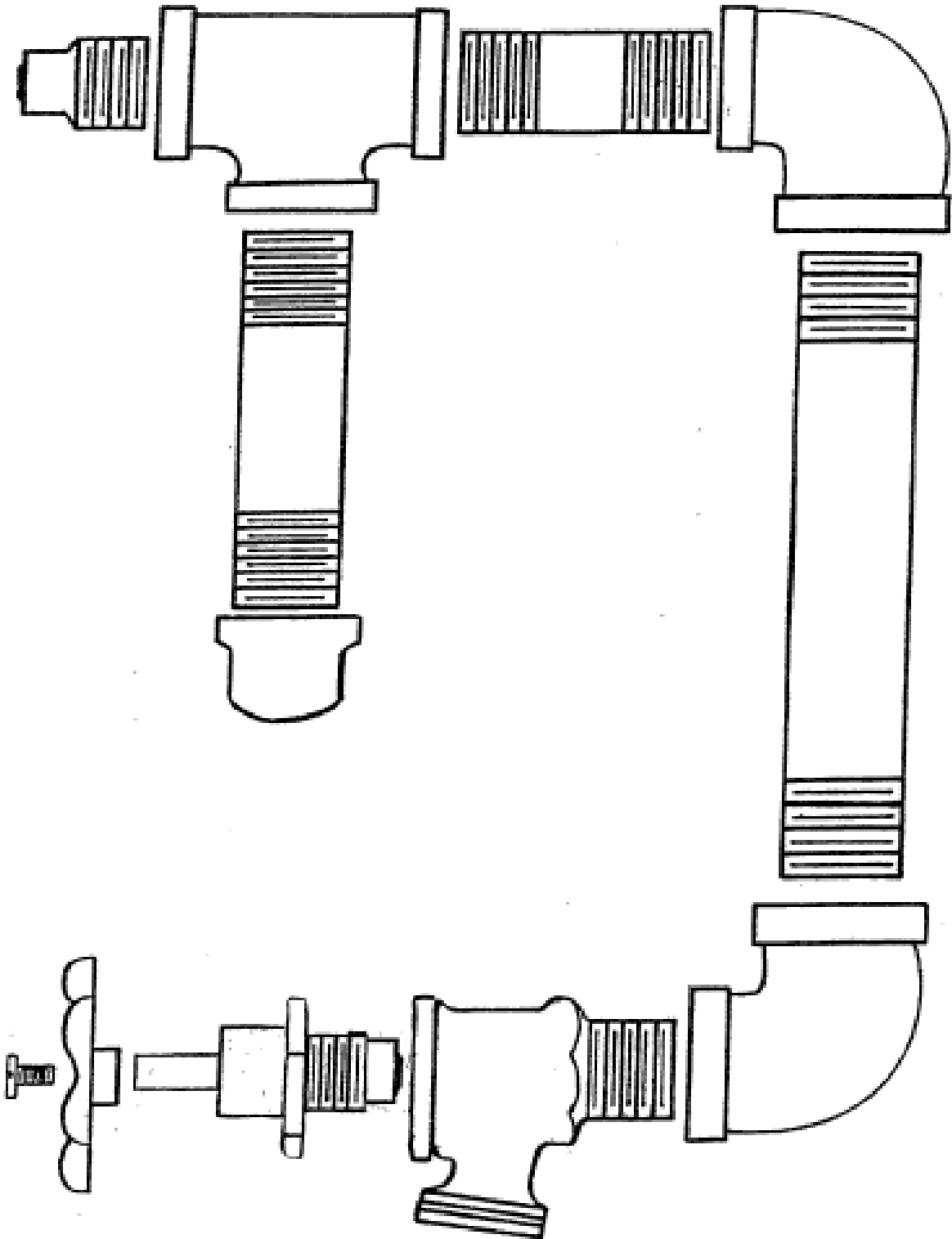
作業:



採点手順:



モジュール 8 : パイプ組み立て





## モジュール 9 : Oリング

### 目的 :

Oリングモジュールは、相談者や患者が形態知覚を求められる作業を適切に実施できるかどうか評価することを目的としている。

### 用具・準備 :

収納トレー2つ、Oリング 51 個（12 種類の異なるサイズ-3 種類の大きいサイズから各 2 個、9 種類の小さいサイズから各 5 個）

Oリングをトレーから取り、相談者や患者の前の平面に置く。全てのOリングを一緒にして混ぜる。トレーを相談者や患者のすぐ手の届く場所に置く。

### 作業 :

参加者に全てのOリングを正確なサイズによって仕分けるよう指示する。その過程では手だけを使って行う限り、リングの仕分けにどのような方法を用いてもよい。全てのリングがサイズ別に仕分けられたら、参加者はOリングをトレーに戻す。リングはどの順番で置いてもよいが、トレーの各仕切りには同じサイズのOリングが入ることを相談者や患者が理解しているのを確認する。相談者や患者が作業のやり方を理解するのに十分な数のリングで仕分けの練習をさせる。制限時間を設けた作業を始める前に、全ての練習用リングを他のリングの寄せ集めの中に戻す。

与えられる最長時間は 7 分である。

### 口頭での指示 :

発言：目の前にあるリングを、同一のサイズのを積み重ねるか、または一塊にして分けて下さい。

行動：相談者や患者が作業を理解したとあなたが確信するまで練習を認める。仕分けられたOリングを相談者や患者の前にある他のリングの寄せ集めの中に戻す。

## モジュール 9 : Oリング

### 口頭での指示(続き) :

発言 : 全てのリングを練習通りにサイズによって仕分けて下さい。全てのリングの仕分けが終わったら、好きな順番でリングをトレーの中に置いて下さい。ただし、トレーの各仕切りには同じサイズのリングが入るようにして下さい。

発言 : 何か質問はありますか？準備はいいですか。始めて下さい。

### 解釈 :

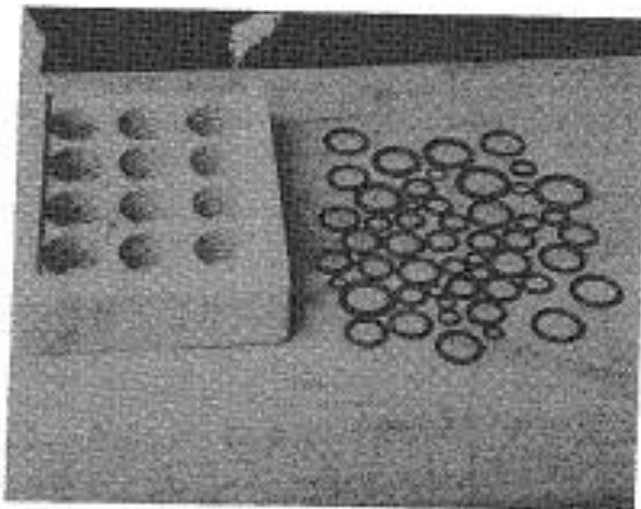
形態知覚 : 大きさと形状を識別する能力。視覚構成も要素となる。

### 採点手順 :

本作業の誤答の数は最大で 12 個である。収納トレーの 1 つの仕切りに異なるサイズの Oリングが入っていると 1 つの誤答と見なされる。仕切り 1 つにつき、1 つだけ誤答がカウントされる。誤答を素早く且つ正確に確認するため、同じ仕切りのリングを釘にかける。相談者や患者にはこの方法を使わせてはならない。

## モジュール 9 : Oリング

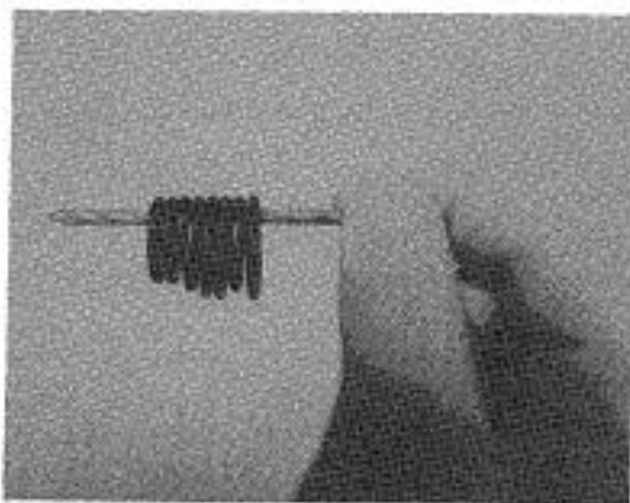
用具・準備:



作業:



採点手順:



## モジュール 10：ブロック配置

### 目的：

ブロック配置モジュールは、相談者や患者が空間知覚を用いる作業を適切に実施できるかどうか評価することを目的としている。

### 用具・準備：

ブロック 20 個、図 1 枚

ブロックを袋から取り出し、相談者や患者の前の平面に置く。図がブロックと同じ面に平らになるように、ブロックの後ろに置く。

### 作業：

相談者や患者に、図に示されているのと全く同じようにブロックを組み立てるよう指示する。練習は必要ないが、相談者や患者が何をすべきか分からないのが明らかな場合は作業を中断させ、最終的な時間スコアを得る前に更なる指示を与えてもよい。

与えられる最長時間は 5 分である。

### 口頭での指示：

発言：目の前にあるブロックを全て使って、図に示されているのと全く同じ配置で組み立てて下さい。

行動：図を指さす。

発言：何か質問はありますか？準備はいいですか。始めて下さい。

## モジュール 10：ブロック配置

### 解釈：

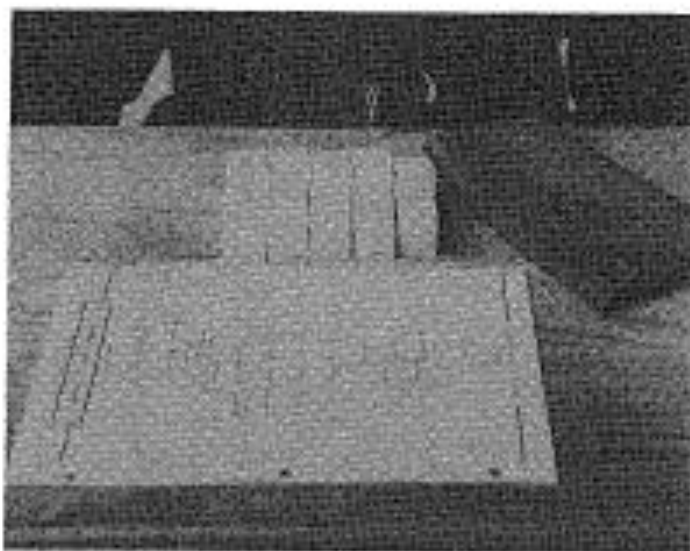
空間知覚：幾何学的形状を知覚し、物体の次元表示を解釈する能力。奥行き知覚と視覚運動協応も要素となる。

### 採点手順：

各ブロックが図の配置に従って置かれていないと誤答 1 つが採点される。誤答はブロックがきちんと置かれているかではなく、どのような空間的配置になっているかに基づく。

## モジュール 10：ブロック配置

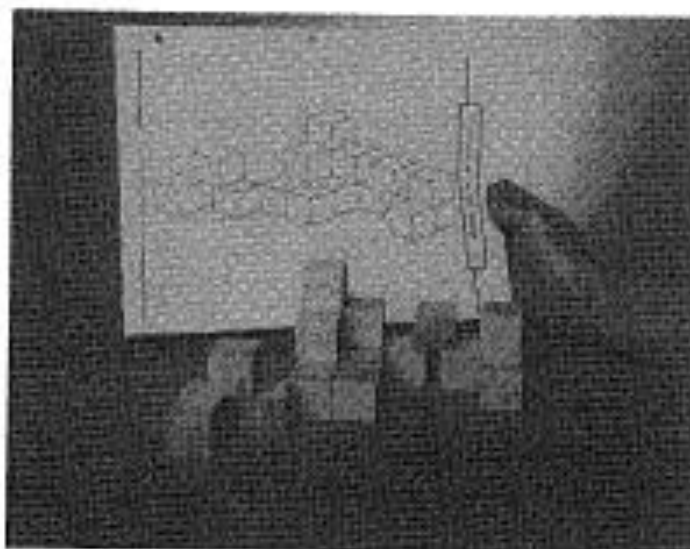
用具・準備：



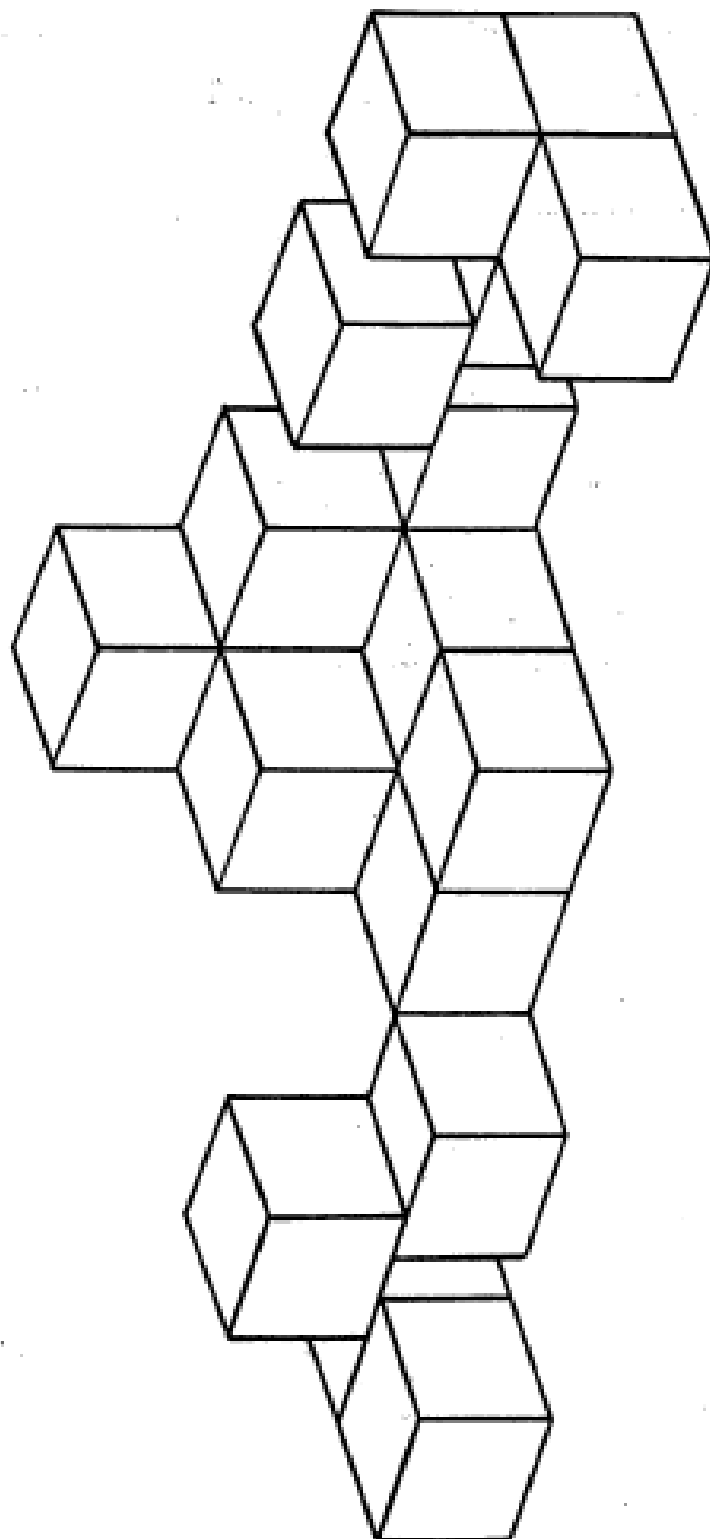
作業：



採点手順：



モジュール 10 : ブロック配置



## モジュール 11：色仕分け

### 目的：

色仕分けモジュールは、参加者が色識別技能を用いる作業を適切に実施できるかどうか判断することを目的としている。

### 用具・準備：

中心部が7つの異なる色で色分けされたカード50枚：青色7枚、赤色7枚、緑色6枚、オレンジ色6枚、黄色8枚、紫色8枚、茶色8枚

カードの束を参加者の前の平面に置く。相談者や患者に中心部の色が同じカードを全て同じ束にして置くように指示する。

### 作業：

相談者や患者に、束の最初の10枚のカードを仕分ける練習を認める（カードはしっかり混ぜておくようにする）。相談者や患者が何をするか理解していることを確認する。それから残りのカード（40枚）を仕分けて、時間スコアを得る。束は相談者や患者の好きな順番で並べてよい。作業を完了するのに十分な時間を与える。

本作業では時間スコアよりも誤答スコアの方がより重要となる。

### 口頭での指示：

発言：中心部の色が同じカードを全て同じ束にするように、全部のカードを束に分けて下さい。

行動：中心部の色を指さす。

発言：練習として最初の10枚のカードを仕分けて下さい。



## モジュール 11：色仕分け

### 口頭での指示(続き)：

行動：相談者や患者がすべき事を理解しているかを確認するため、彼らの作業の様子を確認する。必要であれば追加の指示を与える。最初の 10 枚のカードはそのままにしておく。

発言：残りのカードを既に出来ている束と、必要であれば新しい束に仕分けて下さい。

発言：何か質問はありますか？準備はいいですか。始めて下さい。

### 解釈：

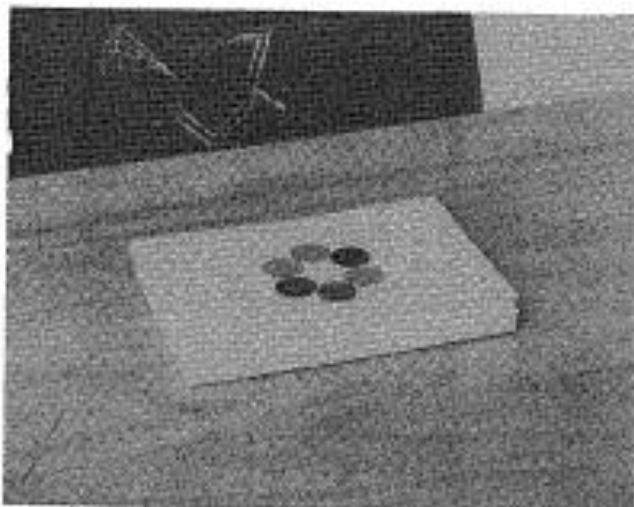
色識別：色を正確に仕分けて合わせる能力。

### 採点手順：

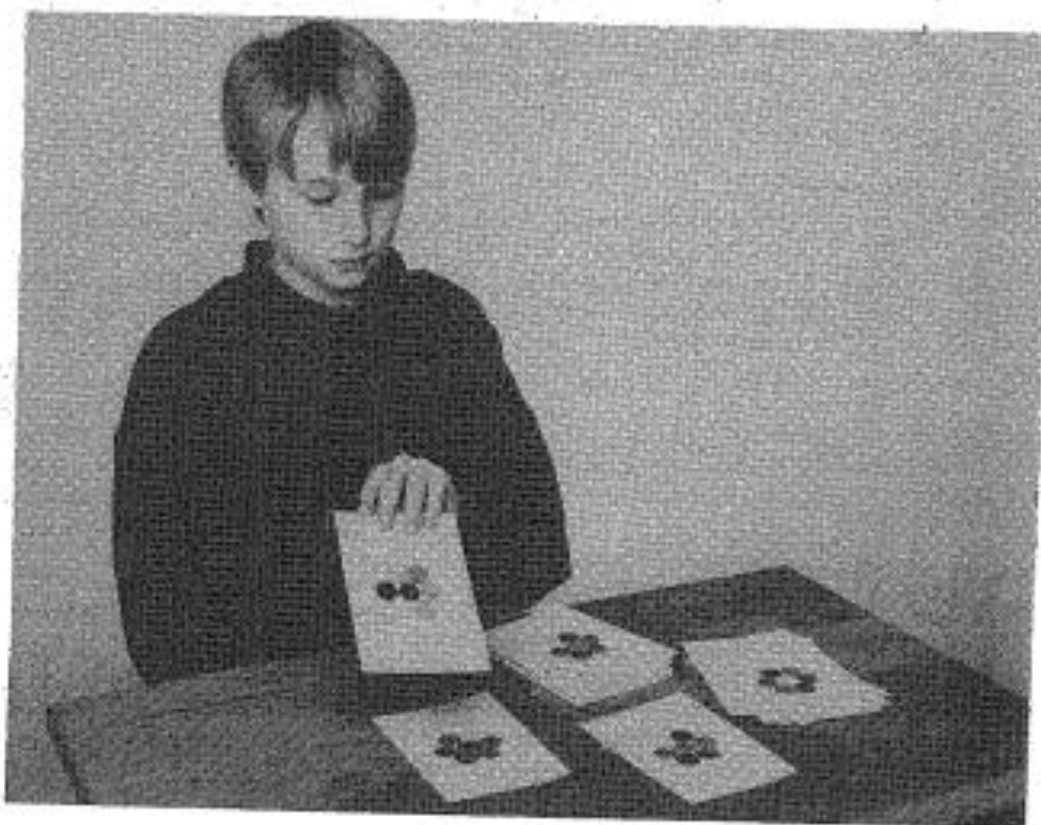
1 つの束に 2 つまたはそれ以上の異なる色が含まれる場合に誤答 1 つが採点される。

## モジュール 11：色仕分け

用具・準備：



作業：



## モジュール 12：回路基板

### 目的：

回路基板モジュールは、相談者や患者が適切に図に従い、基盤上の回路に配線する能力があるかどうか評価することを目的としている。

### 用具・準備：

回路基盤 1つ、図 1 枚、LED スイッチ 1つ、LED ライト 1つ、2 種類のサイズの黄色・緑色・赤色のワイヤー、LED スイッチ・ライト・ワイヤーの予備セット 1 式

トレーからプラスチックのカバーを外し、回路基盤を相談者や患者の前の平面に置く。図を回路基盤の隣に置く。

### 作業：

相談者や患者に、図に従ってトレーの中の必要な部品を回路基盤の接続部分に配置するよう指示する。トレーから移される使用部品は、それぞれ図と全く同じ場所に配置する。相談者や患者に、黄色の長いワイヤーを基盤につなぐ練習をさせる。必要に応じて追加の指示を与える。相談者や患者は、図を回路基盤の近くのどこでも好きな場所に置いてよい。制限時間を設けた作業を始める前に練習用の部品を全てトレーに戻す。

与えられる最長時間は 8 分である。

### 口頭での指示：

発言：練習として黄色の長いワイヤーを取り、図で示されるのと全く同じ場所に置いて下さい。ワイヤーは回路基盤上の穴にぴったり合うはずです。

行動：回路基盤上の穴を指さす。相談者や患者が最初の練習の後、作業を理解できない場合は追加の指示を与え、実演を行う。

行動：全ての練習用の部品をトレーに戻す。

発言：図に従って、必要な部品をトレーから回路基盤の適切な場所に配置して下さい。何か質問はありますか？準備はいいですか。始めて下さい。

## モジュール 12：回路基板

### 解釈：

図式化された指示に従う：図またはスケッチを知覚し、解釈する能力。数理技能が用いられる。微細視覚運動協応の技能も要素となる。

### 採点手順：

相談者や患者が部品を誤った場所に置く度に誤答 1 つが採点される。

## モジュール 12：回路基板

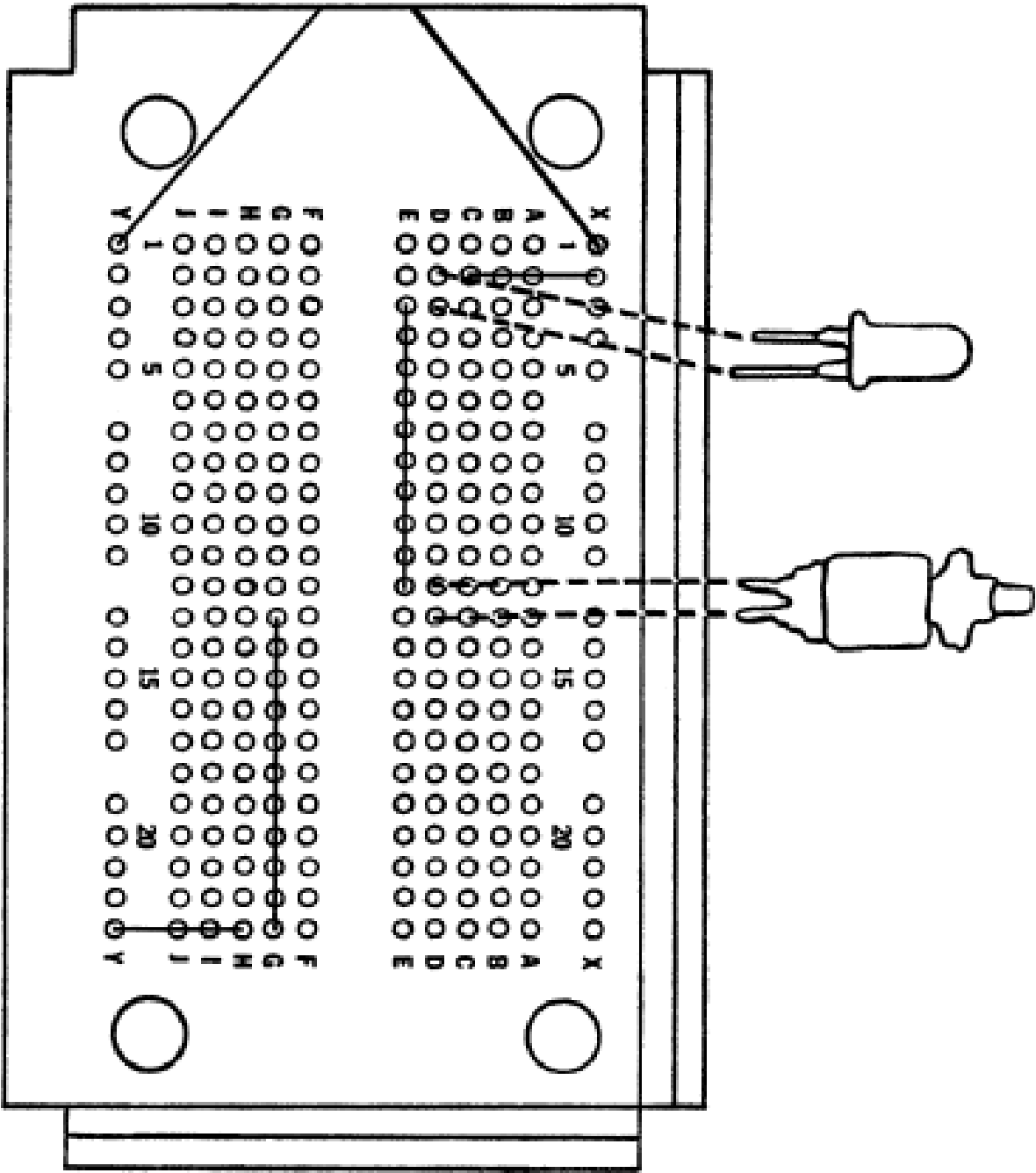
用具・準備：



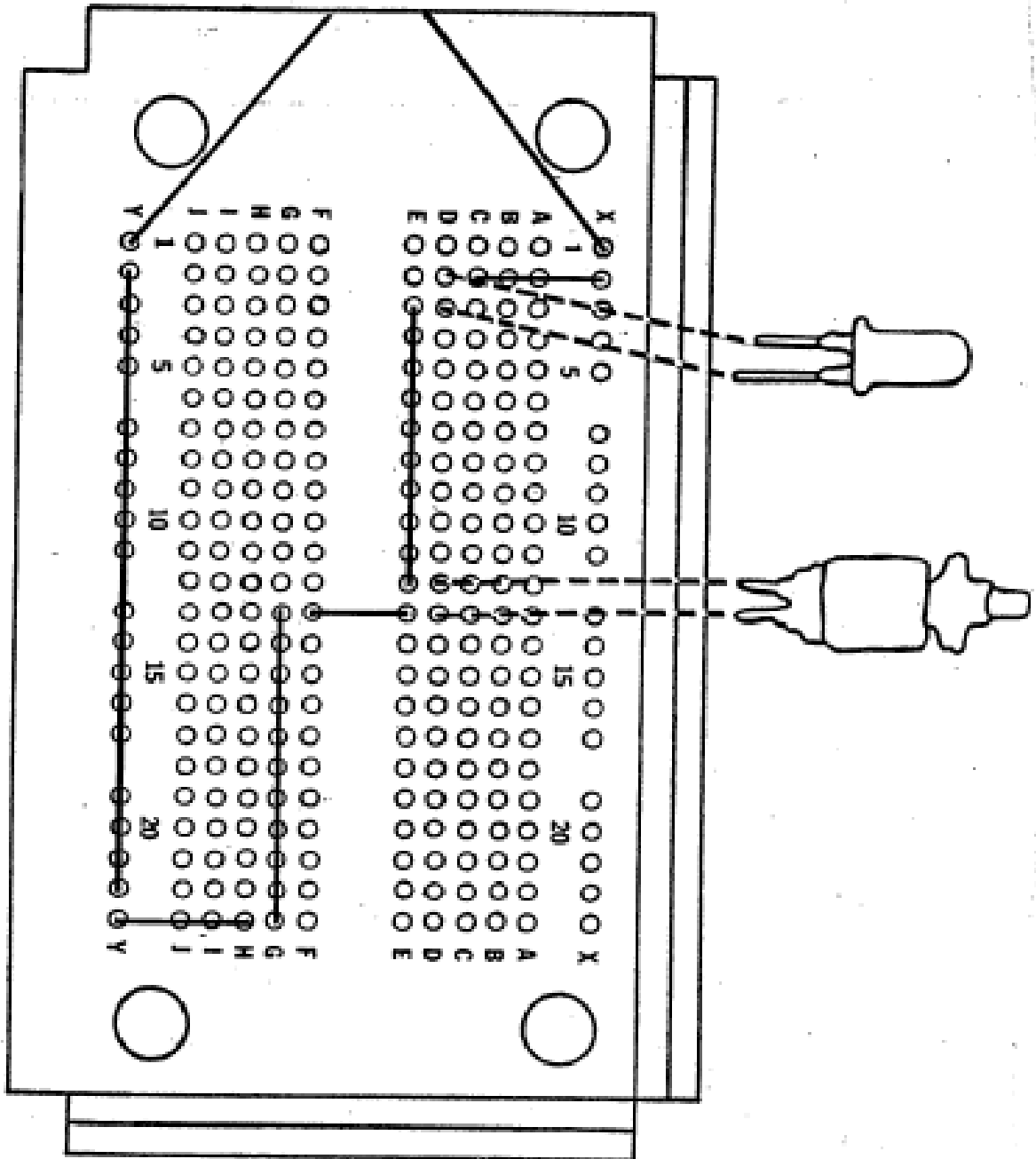
作業：



モジュール 12 : 回路基板



モジュール 12 : 回路基板



## 基準データ

### 基準データ

MTM 法 (Methods-Time Measurement、メソッド・タイム測定法) 換算表は成人集団を対象とする場合に使用されるべきである。



## MTM 法換算表

テストの再実施のための MTM 法換算表及び測定の標準誤差

学生 \_\_\_\_\_

日付 \_\_\_\_\_

		各作業を完了するまでの時間 (秒)															
SEM (測定の標準誤差)		75	43	10	34	109	41		46	33	16	11		29			
評価	MTM パーセント	郵便物仕分け	えアルファベット順並び替	視覚迷路	給与計算	患者情報	小部品A	小部品B	定規の目盛りの読み取り	パイプ組み立て	リング	ブロック配置	色仕分け	回路基板			
1 優れている	150 130	179 250	82 114	59 82	102 142		54 75	161 225	38 53	61 85	61 85	14 19	18 25	28 39			
2 標準以上	120 115 110 105	286 304 321 339	130 139 147 115	94 100 105 111	162 173 183 193		86 91 96 102	257 273 289 305	60 64 68 71	98 104 110 116	98 104 110 116	22 23 24 26	28 30 32 33	45 48 50 53			
3 標準	100 90 80 70	357 393 428 464	163 179 196 212	117 129 140 152	203 223 244 264		107 118 128 139	321 353 385 417	75 83 90 98	122 134 146 159	122 134 146 159	27 30 32 35	35 39 42 46	56 62 67 73			
4 標準以下	65 40 25	482 571 625	220 261 285	158 187 205	274 325 355		145 171 187	433 514 562	101 120 131	165 195 214	165 195 214	37 43 47	47 56 61	76 90 98			
5 改善の必要有	10	678	310	222	386		203	610	143	232	232	51	67	106			
		T	E	T	E	T	E	T	E	T	E	T	E	T	E	T	E
試験 1																	
試験 2																	
試験 3																	

## 基準表：一般的な高校生

T=時間  
[E]=誤り

年齢： 範囲 14-18 平均 15.7	性別： 女性 50% 男性 50%	教育： 範囲 9-12 平均 10.16	社会経済： 都市 36% 郊外 27% 地方 37%
----------------------------	-------------------------	----------------------------	-------------------------------------

T=時間  
[E]=誤り

各作業を完了するまでの時間（秒）

評価	パーセントイル	郵便物仕分け	アルファベット順並び替え	エッチ・ア・スケッチ	給与計算	患者情報メモ	小部品A	小部品B	定期の目盛りの読み取り	パイプ組み立て	オリング	ブロック配置	色仕分け	回路基板
		T[E]	T[E]	T[E]	T[E]	T[E]	T[E]	T[E]	T[E]	T[E]	T[E]	T[E]	T[E]	T[E]
1 優れている	99	180	120	120	120	240	120	230	60	120	120	30	30	60
	95	260	140	130	180	480	150	290	80	150	130	40	40	150
	90	300	160	130	200	660	170	330	90	180	140	50	40	170
2 標準以上	80	350	210	150	230	730[1]	200	380	140	210	180	60	50	190
	75	380	240	160[1]	240	770[2]	210	400	140	230	180	60	50	200
	70	410	250	170	250	810	230	410	160	240	180 [1]	60	50	210
3 標準	60	500	300[1]	180	280	910[3]	240	450	180	290	220	70	60	220
	50	560	310	[2]	[1]	930	240	460	[1]	320	240	70	60	240
	40	[1] 600	[2] 360	200 [3] 220	290 300	[5] 960 [6]	270	510	210 240 [2]	350 [1]	[2] 250	120 [1]	60	290
4 標準以下	30	650	390	230	360	1010[10]	290	560	300	400	310	140	60	380
	25	[2]	420[3]	240[4]	380	1070[12]	310	590	320	420	[3]	150	60	[2]
	20	680 [3] 710 [4]	440 [4]	270 [5]	410	1140[13]	340	610	[3] 340 [4]	480	310 320 [4]	160 [2]	70	400 410
5 改善の必要有	10	840	500[5]	330[6]	480	1350[19]	360	680	390	630	350	180	90	440
	5	[6] 930 [14]	540[6]	360[9]	[2] 600	1620	390	740	[6] 450 [8]	710[2]	[5] 410 [6]	[3] 240 [4]	120 [1]	[3] 470 [4]
	基準 平均	110 489	136 318	82 184	112 244	111 902	82 249	112 496	101 225	82 322	136 244	81 82	136 62	111 230
標準偏差	187	137	34	130	244	92	145	127	77	73	31	17	91	
測定 の標準誤差	75	43	10	34	109	41	-	46	33	16	11	-	29	

### 基準表：軽度の障害のある高校生

T=時間  
[E]=誤り

年齢 範囲 14-16 平均 15.1	性別 女性 36% 男性 64%	教育 範囲 7-11 平均 8.9	社会経済 都市 33% 郊外 33% 地方 34%
---------------------------	------------------------	-------------------------	------------------------------------

T=時間  
[E]=誤り

評価	パーセン タイル	郵便物仕分け		アルファベ ット順並び 替え		エッチ・ ア・スケ ッチ		給与		患者情報		小部品 A		小部品 B		定規の目 盛りの読 み取り		パイプ組 み立て		Oリング		ブロック 配置		色仕分け		回路基 板		
		T	E	T	E	T	E	T	E	T	E	T	E	T	E	T	E	T	E	T	E	T	E	T	E	T	E	
1 優れている	99 95	4.1	0	2.2 3.8	0 1	1	0	1.2	0	7.3 9.3	0	2	0	3.6 5.2	0	.9	0	1	0	2.5	0	1.2	0	.8	0	3	0	3.4
2 標準 以上	90 80 75 70	5.8		4.6 5.4	3	2.1 2.7		3.6		13.3 15.3	1 4	2.9		6.3		1.9	1 2 3	2.7 3.5	3	4.6	1 2	1.6		1.1 1.3 1.6		3.7		
3 標準	60 50 40 30	10.8	2 3 4 5	7 7.8 8.5 11.7	7 10 12 14		2 3.8 4.3 4	6.1	1	19.3 21.3 23.3	10 13	4.8		8		3.9	5 6 7 8	5.2	5.6	5 7 8 11	3.2 4 4.4 5.1	2 1	2.1 2.3 2.8		4.8		5.2 1	
4 標準 以下	25 20 10	15.9	7 8 11	12.5 14.9		4.9 6 11	5 6 11	8.5	2	25.3 29.2		6.2 6.7		10.2		6.9	9 10 12	8.6	7.1	2 3	8.2 9.2	12 14	5.5 6.3 7.9	4 5 10	3.1 4.1		6.3 7.1	2 3
5 改善 の必要有	5	20.9	14	16.4		6.5		13.3	3	31.2		7.1		11.8	1	11	14	13.6	4			8.3	13	4.9		8.2	5	
基準		121		50		121		121		121		121		68		121		121		50		50		50		69		
平均		12.5		8.9		3.9		6.9		21.5		4.9		8.7		4.8		6.4		6.4		4.2		2.5		5.4		
標準偏差		5.6		4		1.8		3.6		6.5		1.6		2		3.3		3.4		2.4		2.3		1.3		1.5		

## 職業能力マトリックス

氏名 \_\_\_\_\_ 日付 \_\_\_\_\_

職業能力マトリックスは、相談者または患者の能力と地域の職業訓練プログラムで求められる能力レベルとの関係を表す。マトリックスを利用するには、以下に記載された評価尺度に従って各能力の重要性を指導官に評価させるか、または次ページの予め定義されたマトリックスを参照する。評価はマトリックスの該当する列に記載する。完成後には、各相談者または患者の能力を地域の職業訓練プログラムに求められる必要条件と比較することができる。

非常に重要…1 標準以上の重要性…2 標準程度の重要性…3 標準以下の重要性…4 重要性なし…5	農業	ビジネス教育	美容師業	建設	製図	電子工学	食品	グラフィック	健康	マーケティング	金属	家政学	運輸・自動車				相談者
1. 微細運動協応	3	4	2	3	1	1	3	2	2	5	1	4	2				
2. 外見	4	2	1	4	4	4	3	3	1	1	4	2	4				
3. 書記的	4	1	4	4	2	3	3	2	2	2	4	3	4				
4. 書記的 言語的・順序づけ	4	1	4	4	2	3	3	2	2	2	4	3	4				
5. 色識別	3	4	2	4	3	2	3	1	3	4	3	3	3				
6. コミュニケーション能力	3	1	2	3	3	3	2	2	2	1	3	1	3				
7. 規則遵守	3	2	3	2	1	1	2	3	1	3	3	3	3				
8. 視覚識別	3	1	4	2	1	2	2	3	2	1	2	3	3				
9. 持続	2	3	3	2	3	3	3	3	2	3	2	3	3				
10. 視覚と手の協調	3	3	2	2	2	1	3	2	2	4	2	3	1				
11. 図式化された指示に従う	3	4	3	2	1	1	4	2	2	4	2	3	2				
12. 口頭での指示に従う	3	2	2	3	3	3	2	2	1	1	3	2	3				
13. 書面での指示に従う	3	1	4	3	2	2	3	2	2	3	3	3	3				
14. 形態知覚	3	3	2	2	1	1	3	1	2	3	1	3	1				
15. 一般知能	3	2	3	3	2	2	3	3	1	2	3	2	3				
16. 自発性	3	3	3	3	4	3	3	3	2	1	3	2	3				
17. 対人関係特性	3	3	2	3	4	4	2	3	1	1	3	1	3				
18. 手腕の器用さ	2	4	2	2	2	2	2	3	2	4	1	3	1				
19. 計測技能	3	4	4	2	1	2	3	2	3	4	2	3	3				
20. 視覚運動協応	3	3	1	2	2	2	3	3	3	4	1	3	1				
21. 数理的	3	2	4	3	1	1	3	3	2	2	3	3	3				
22. 作業に対する反応	3	2	3	3	2	3	3	3	2	3	3	3	3				
23. 安全意識	2	4	4	2	4	1	3	3	1	4	1	3	2				
24. 空間知覚	4	4	2	2	1	1	3	2	2	4	2	3	2				
25. 言語的	3	2	2	3	3	3	3	3	2	2	3	2	3				

用語を明確に理解するには、付録（A）の定義を参照のこと。

## 職業能力マトリックス

氏名 \_\_\_\_\_ 日付 \_\_\_\_\_

職業能力マトリックスは、相談者または患者の能力と地域の職業訓練プログラムで求められる能力レベルとの関係を表す。マトリックスを利用するには、以下に記載された評価尺度に従って各能力の重要性を指導官に評価させるか、または次ページの予め定義されたマトリックスを参照する。評価はマトリックスの該当する列に記載する。完成後には、各相談者または患者の能力を地域の職業訓練プログラムに求められる必要条件と比較することができる。

非常に重要…1 標準以上の重要性…2 標準程度の重要性…3 標準以下の重要性…4 重要性なし…5	農業	ビジネス教育	美容師業	建設	製図	電子工学	食品	グラフィック	健康	マーケティング	金属	家政学	運輸・自動車	相談者
1. 微細運動協応														
2. 外見														
3. 書記的														
4. 書記的 言語的・順序づけ														
5. 色識別														
6. コミュニケーション能力														
7. 規則遵守														
8. 視覚識別														
9. 持続														
10. 視覚と手の協調														
11. 図式化された指示に従う														
12. 口頭での指示に従う														
13. 書面での指示に従う														
14. 形態知覚														
15. 一般知能														
16. 自発性														
17. 対人関係特性														
18. 手腕の器用さ														
19. 計測技能														
20. 視覚運動協応														
21. 数理的														
22. 作業に対する反応														
23. 安全意識														
24. 空間知覚														
25. 言語的														

用語を明確に理解するには、付録（A）の定義を参照のこと。

## 付録

- A. 用語の定義
- B. コンピューター採点に関する資料
- C. 部品価格一覧表

## 付録 A : 用語の定義

### 用語の定義

## 付録 A：用語の定義

以下の用語は、療法士のためのポータブル技能評価モジュールによって評価される適性、能力、技能及び行動である。本評価の主な目的は、相談者や患者が以下で定義する要素が求められる作業を適切に実施できるかどうかを判断することである。

1. 外見－きちんとした服装をし、清潔な外見を保ち、服装に関する安全要件に従う能力。
2. 書記的、言語的及び順序づけ－言語または表形式の資料を順序づけして処理する能力。コンピューターで打った言葉や文字に目を通して識別する能力。
3. 色識別－色の違いを知覚及び識別し、色を正確に合わせる能力。
4. コミュニケーション能力－指導員、上司及び同僚に考えや情報、ニーズを効果的に伝える能力。
5. 持続－感情的または肉体的疲労を感じるほど長時間にわたって作業を続ける能力。
6. 視覚と手の協調－目と手を効果的に使って物を動かし、操る能力。
7. 微細運動協応－手の指を動かし、小さい物を操る能力。
8. 図式化された指示に従う－図面や略図を理解し、それを活用して作業活動を遂行する能力。
9. 規則遵守－時間を守り、きちんと出勤し、進んで規則と規定を守る能力。
10. 口頭での指示に従う－簡単な口頭での指示を理解し、それを活用して作業を遂行する能力。
11. 書面での指示に従う－6年生程度の読解力レベルの簡単な文書を理解し、それを活用して作業を遂行する能力。
12. 形態知覚－物体を細部まで正しく知覚し、視覚的な比較と識別を行う能力。



## 付録 A：用語の定義

13. 一般学習能力－口頭及び書面での指示と基本原理を理解する能力。認知能力を活用して論理的に考え、判断を下す能力。
14. 自発性－指示を受けずに働き、間違いに気づいて訂正を行い、作業場を整理整頓された状態に保ち、やる気を示す能力。
15. 対人関係特性－批判を受け入れ、感情を抑制し、権威に対して適切な態度を保ち、同僚と協力し、健全な自己概念を保つ能力。
16. 手腕の器用さ－手を容易且つ巧みに動かし、また手を効果的に使って物を置き、回転させる動作を行う能力。
17. 計測技能－計算を素早く正確に行い、視覚的な比較と識別により線の長さのわずかな違いを見分ける能力。
18. 数理能力－計算を素早く正確に行う能力。
19. 割り当てられた作業に対する反応－集中力と作業のリズムを維持し、作業を遂行し、反復によって向上し、作業上の変更を行い、嫌なまたは繰り返しの多い作業に耐える能力。
20. 安全意識－訓練プログラムで求められる安全規則及び規定を理解し、従う能力。
21. 空間的關係－空間における形態の位置を知覚し、その平面と立体物との関係を理解する能力。物体を次元で視覚化する能力。
22. 言語能力－言葉の意味を理解し、それらを効果的に使う能力。
23. 視覚識別－文字または数字の違いを視覚的に判断する（読むのではない）能力。
24. 視覚運動協応－目と手や指を正確に且つ素早く協応させる能力。

## 付録 B： ソフトウェア資料

療法士のためのポータブルスキル評価モジュール

### コンピューター・ソフトウェア資料

この先に進む前に、必ず本プログラムをハードドライブにインストールする！

#### Windows でのインストール

作業能力サンプル CD をドライブに入れる。

スタートメニューから、「ファイル名を指定して実行」を選択する。

「x:/worksamp/Setup.exe」と入力する。ここでの「x」は CD-ROM ドライブの文字である。  
スクリーン上の指示に従う。

#### **プログラムを起動するには：**

スタートメニューからプログラムのフライアウトメニューを選択し、それから Piney Mountain Press のサブフォルダーで作業能力サンプルを選択するとプログラムが起動する。

## コンピューター管理と採点

「ファイルメニュー」を開き、「開く」ボタンを選択する。

「セットアップ」メニューで学生のファイルが編集できる。B4 ページを参照。

「セットアップ・マトリックス・デフォルト」－作業能力サンプル評価エリアで自分の訓練マトリックスをカスタマイズする。

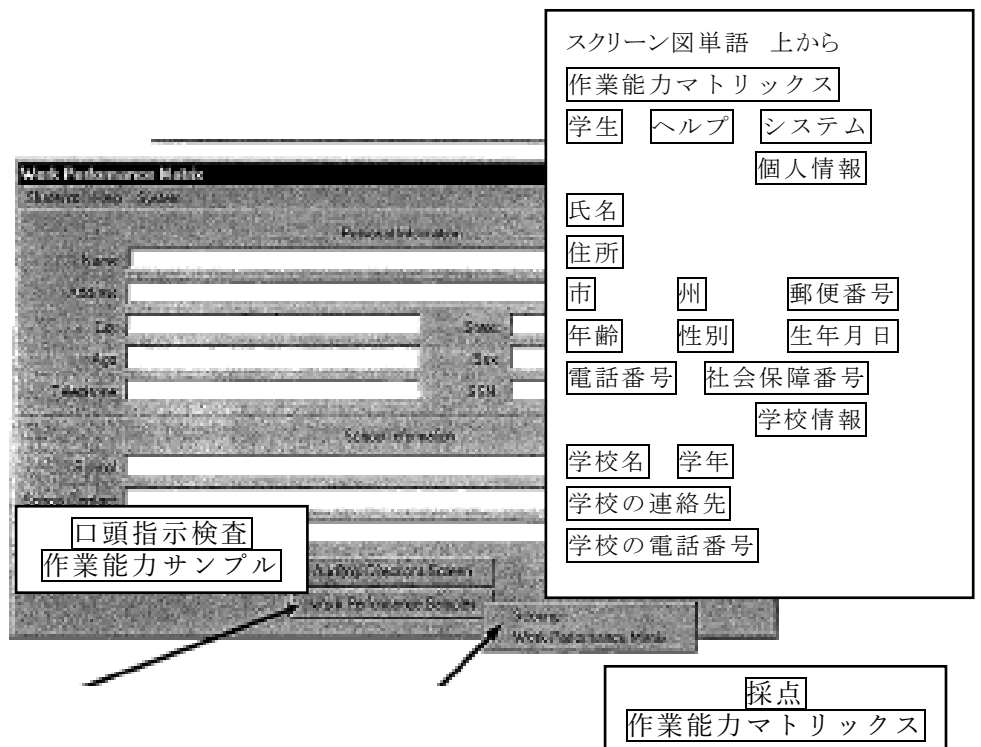


「セットアップ・キャリア・テクニカル・タイトル」－作業能力サンプル評価エリアで職業訓練タイトルの追加、編集、削除を行う。

次の表示画面：

各人の個人情報と学校情報をまだ入力していない場合はここで入力する。既存の学生の情報の読み込み、保存、削除、印刷の仕方については B5 ページを参照。

(新規あるいは編集された情報は、「F2」ファンクションキーか「学生」メニューの「学生情報を保存」ボタンを押して、その都度保存する)。



「作業能力サンプル」ボタンをクリックする。

「採点」を選択すると、作業能力サンプルの各人の時間と誤答の結果に基づくプロフィールが得られる。

「作業能力マトリックス」を選択すると、個人のスコアと職業訓練領域とが関連付けられる。

## コンピューター管理と採点

「採点」を選択した時の表示画面：

ストップウォッチを使用する場合は、各分野の終了の枠に合計時間を入力する。

腕時計か壁時計を使用する場合は、開始時間と終了時間を入力する。

コンピューターがあなたの代わりに合計時間を計算する。

各分野の誤りの数を誤答の枠に入力する。

時間は以下のように入力する： 分：秒  
(1時間単位では入力しない)

例：

5分30秒は05：30と入力する。

The screenshot shows a window titled "Scoring". On the left side, there is a list of subjects: Math, Science, English, History, Geography, Art, Music, Physical Education, Health, and Foreign Language. To the right of this list is a grid of input boxes. The first two columns are for time (minutes and seconds), and the third column is for error counts. At the bottom of the window, there are three buttons: a checkmark (OK), an 'X' (Cancel), and a question mark (Help).

スクリーン図単語 上から

採点

読み取り不可の単語

開始

終了

誤答

郵便物仕分け

アルファベット順並び替え

エッチ・ア・スケッチ迷路

給与

患者情報メモ

小部品 A

小部品 B

定規の目盛りの読み取り

パイプ組み立て

Oリング

ブロック配置

色仕分け

回路基板

OK

キャンセル

ヘルプ

「作業能力マトリックス」を選択した時の表示画面：

それぞれの枠に採点  
プロフィールから 1-5  
の評価を入力する。

1. 優れている
2. 標準以上
3. 標準
4. 標準以下
5. 改善の必要有

Task	Communication	Organization	Teamwork	Quality of work
Communication	Communication	Teamwork	Quality	Teamwork
Organization	Communication	Teamwork	Quality	Teamwork
Task	Communication	Teamwork	Quality	Teamwork
Quality of work	Communication	Teamwork	Quality	Teamwork

OK X ?

スクリーン図単語 上から

(→上部の枠の中の言葉は文字が不鮮明  
で読み取れませんでした)

OK

キャンセル

ヘルプ

# サンプルレポート

「セットアップ」メニューを開くと以下の項目が表示される：

「学生リストの編集」－ファイル内の学生の閲覧と削除を行う。

「セットアップ・マトリックス・デフォルト」－作業能力サンプル評価エリアであなた自身の訓練マトリックスをカスタマイズする。

「セットアップ・キャリア・テクニカル・タイトル」－作業能力サンプル評価エリアで職業訓練タイトルの追加、編集、削除を行う。



スクリーン図単語 上から

作業能力サンプル

ファイル 編集 セットアップ ヘルプ

学生リストの編集

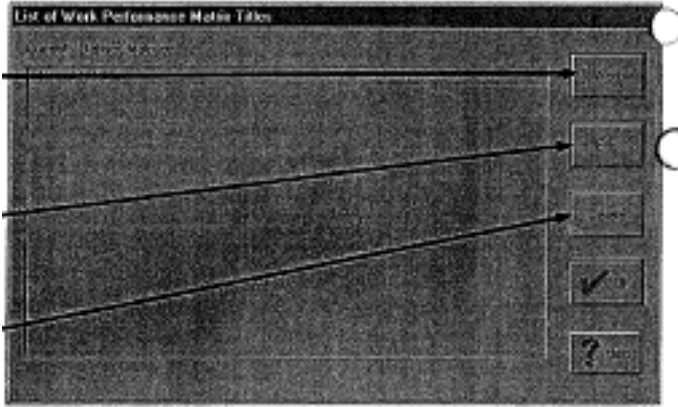
キャリア・テクニカル・タイトルのセットアップ

作業能力マトリックスのセットアップ

## マトリックス・デフォルトのセットアップ

新規の職業訓練マトリックスを追加する場合は、「追加」ボタンを選択する。

既存のマトリックスに変更を加える場合は、作業を行うマトリックスをハイライト表示して「編集」ボタンを選択する。マトリックスを削除する場合は、メモリーから削除したいマトリックスをハイライト表示して「削除」ボタンを押す。



スクリーン図単語 上から

作業能力マトリックスのタイトル名の一覧

→その下の行の単語は文字が読み取れませんでした

追加

編集

削除

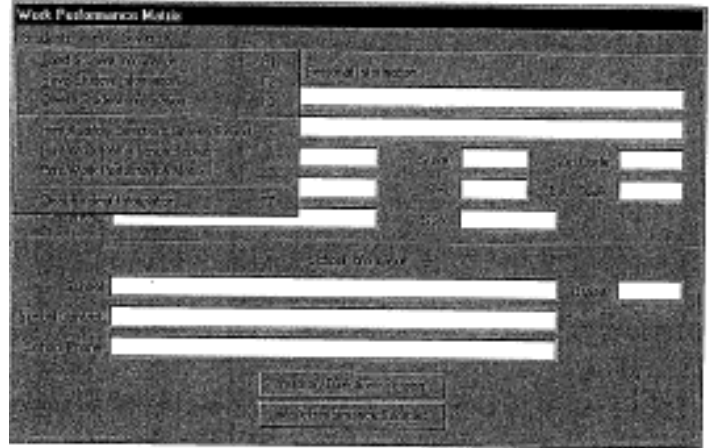
OK

ヘルプ

# サンプルレポート

## 作業能力・キャリア・テクニカル・タイトルのセットアップ

新しいタイトルを追加する場合は、「追加」ボタンを選択する。  
タイトルを削除する場合は、削除したいタイトルをハイライト表示し、「削除」ボタンを押す。



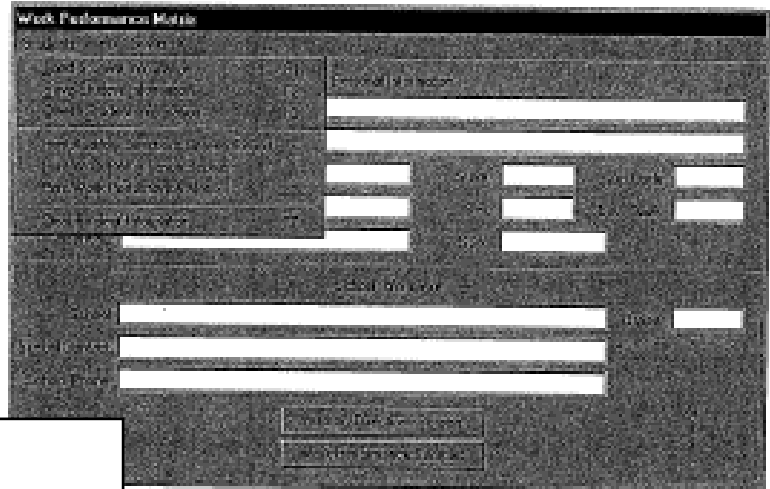
スクリーン図単語 上から	
作業能力職業タイトルのセットアップ	
農業	
ビジネス・オフィス	
建設	
美容師業	追加
製図	
電気機械	削除
電子工学	
食品サービス	OK
グラフィックス	
医療従事者	ヘルプ
マーケティング	
金属加工	
職業としての家政学	
運輸	
木工	

## コンピューター管理と採点

### 学生メニュー

「学生」メニューを開くとレポートの読み込み、保存、削除、印刷を行うことができる。

既存の学生のファイルで作業を行う場合は、「学生情報の読み込み」オプションを選択するか、「F1」ファンクションキーを押す。



スクリーン図単語 上から

作業能力マトリックス

学生情報の読み込み

学生情報の保存

学生情報の削除

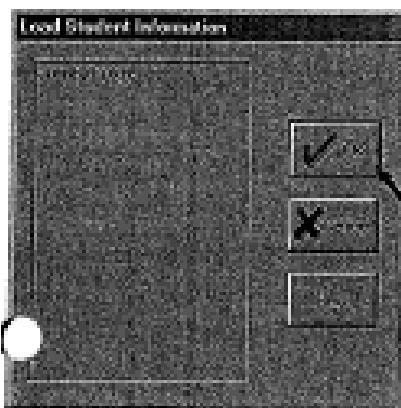
口頭指示検査の印刷

作業能力スコアの印刷

作業能力マトリックスの印刷

学生情報を消す

その他の単語は文字が読み取れませんでした。



スクリーン図単語 上から

学生情報の読み込み OK

キャンセル

ヘルプ

作業を行う学生をハイライト表示し、「OK」ボタンを選択する。

作業を行う学生をハイライト表示し、「OK」ボタンを選択する。

既存の学生のファイルを保存する場合は、「学生情報の保存」オプションを選択するか、「F2」ファンクションキーを押す。

既存の学生のファイルをメモリーから削除する場合は、「学生情報の削除」オプションを選択するか、「F3」ファンクションキーを押す。

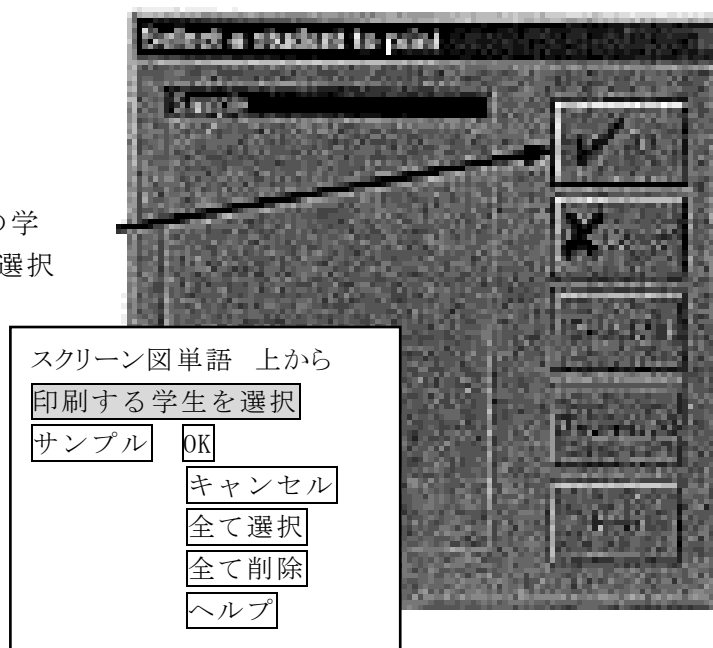
口頭指示検査レポートや他のレポートを印刷する場合は、印刷したいオプションを選択する。





## コンピューター管理と採点

その次の表示画面：

印刷したい学生または複数の学生を選択し、「OK」ボタンを選択する。



次に表示されるのはプレビュー画面である。印刷するには  を選択する。

次のページを閲覧するには  を選択；ページの閲覧にはスクロールバー、終了する場合は「閉じる」ボタンを選択する。

全てのレポートを印刷する場合は、「全レポートを印刷」オプションを選択するか、「F6」ファンクションキーを押す。

学生情報をメモリーからではなく、画面上から消す場合は、「学生情報を消す」オプションを選択するか、「F7」ファンクションキーを押す。

サンプルのレポート

## 作業能力スコア

以下のデータは作業能力スコアの評価結果の一覧である。

ジョニー・フューチャー 社会保障番号：111-11-1111  
 〒45098 コロラド州デュランゴ市 年齢：16  
 マウンテン・ビュー通り 121 性別：男性  
 電話番号：707-898-7765  
 学校：デュランゴ総合高等学校  
 学年：9

## 用語の定義

カテゴリー：評価で使用されるモジュール名

適性：評価される主な適性または特性

時間スコア：参加者が各モジュールを完了するのに要した秒単位の時間

時間パーセンタイル：専門・工業高校の基準値と比較した参加者の時間スコアのパーセンタイル

誤答スコア：各モジュールにおける参加者の誤答の数

誤答パーセンタイル：専門・工業高校の基準値と比較した参加者の誤答スコアのパーセンタイル

MTM-1：同様の技能が求められる活動に従事する平均的な労働者が作業を行うのに要する秒単位の時間（MTMでは誤答はないことを前提とする）。

カテゴリー	適性	時間（秒）		誤答		MTM-1 (秒)
		スコア	パーセン タイル	スコア	パーセンタ イル	
郵便物仕分け	数字識別	660	27.71	2	29.26	357
アルファベット 順並び替え	書記的・言語的	330	44.02	1	62.50	163
視覚迷路	運動協応	150	81.09	0	100.00	117
給与計算	書記的・数理的	360	29.26	2	10.97	203
患者情報メモ	書面での指示に 従う	960	40.24	5	45.12	該当無し
小部品（A）	狙いを定める	180	85.79	0	該当無し	187
小部品（B）	指先の器用さ	360	86.93	0	該当無し	107
定規の目盛りの 読み取り	計測技能	270	34.14	2	32.92	75
パイプ組み立て	手腕の器用さ	150	94.51	2	6.09	122
Oリング	形態知覚	240	46.44	0	100.00	122
ブロック配置	空間知覚	90	42.62	0	100.00	27
色仕分け	色識別	50	72.79	0	100.00	35
回路基板	図式化された指 示に従う	210	66.44	0	100.00	56

作業能力スコアは評価される個人のニーズを見極めるのに役立つ最初の審査手段としてのみ使われるべきである。その結果は職業・技術訓練プログラムの利用を制限するためではなく、個人が必要とする領域を特定し、補習や教科の修正を適切に行うことで学生が選択する職業・技術訓練プログラムを無事完了できるようにすることを目的とする。

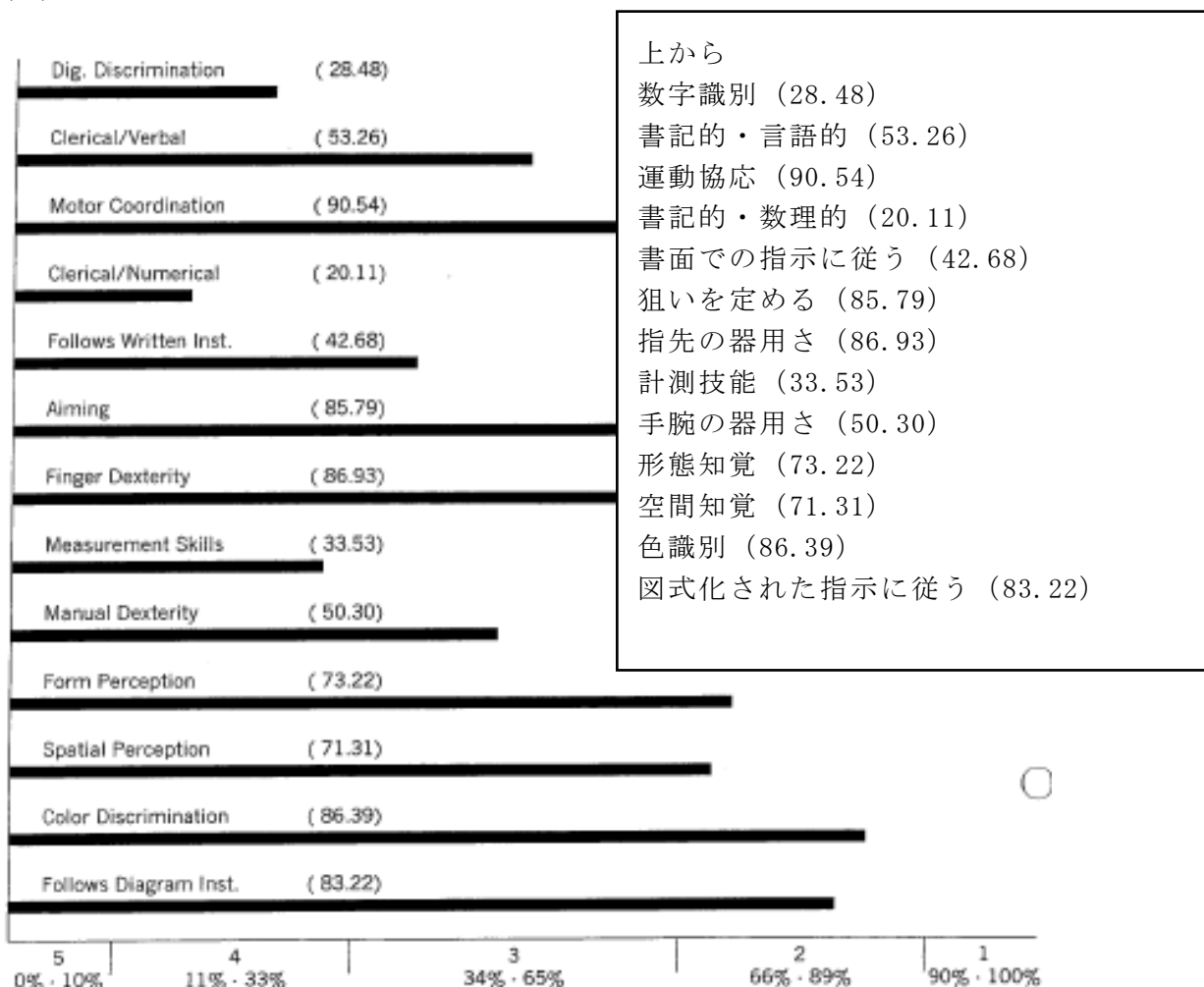
### 作業能力スコア

以下のデータは作業能力スコアの評価結果の一覧である。

ジョニー・フューチャー  
〒45098 コロラド州デュランゴ市  
マウンテン・ビュー通り 121

社会保障番号：111-11-1111  
年齢：16  
性別：男性  
電話番号：707-898-7765

学校：デュランゴ総合高等学校  
学年：9



これらのパーセンタイルは、時間及び誤答パーセンタイルの平均を示している。

#### 評価コード

- 1 = 優れている
- 2 = 標準以上
- 3 = 標準
- 4 = 標準以下
- 5 = 改善の必要有り

## 作業能力マトリックス

ジョニー・フューチャー  
〒45098 コロラド州デュランゴ市  
マウンテン・ビュー通り 121  
学校：デュランゴ総合高等学校  
学年：9

社会保障番号：111-11-1111  
年齢：16  
性別：男性  
電話番号：707-898-7765

### 解釈

評価は、特定の仕事領域で求められる適性の重要性に関する指導官の評価を示す。

評価コード： 1 = 非常に重要  
2 = 標準以上に重要  
3 = 標準程度の重要性  
4 = 標準以下の重要  
5 = 重要ではない

素点は、各種の下位検査における被評価者の成績を示す（本スコアは採点プログラムのプリントアウトの一番下で確認することができる）。

素点コード： 1 = 優れている  
2 = 標準以上  
3 = 標準  
4 = 標準以下  
5 = 改善の必要有り

加重点は指導者の評価と学生の成績との相関関係を表している。

加重点コード： 0.4-1.0 = 高い相関関係  
2.0 = 良い相関関係  
3.0 = わずかな相関関係  
4.0 = 乏しい相関関係  
5.0 = 相関関係なし

生徒が加重点で3、4、5のスコアを取った場合は、表示された職業・技術領域に生徒を配置する際に補習または履修課程の修正を検討するべきである。

## 作業能力マトリックス

ジョニー・フューチャー  
〒45098 コロラド州デュランゴ市  
マウンテン・ビュー通り 121

社会保障番号：111-11-1111  
年齢：16  
性別：男性  
電話番号：707-898-7765

学校：デュランゴ総合高等学校  
学年：9

職業・専門： 農業

特性	スコア			特性	スコア		
	評価	素点	加重		評価	素点	加重
狙いを定める	3	2	1.20	色識別	3	2	1.20
コミュニケーション能力	3	3	1.80	規則遵守	3	2	1.20
数字識別	3	4	2.40	持続	2	2	1.60
指先の器用さ	3	2	1.20	図式化された指示	3	2	1.20
口頭での指示	3	3	1.80	書面での指示	3	3	1.80
形態知覚	3	2	1.20	一般知能	3	2	1.20
自発性	3	2	1.20	対人関係特性	3	3	1.80
手腕の器用さ	2	3	2.40	計測技能	3	4	2.40
運動協応	3	1	0.60	数理能力	3	2	1.20
割り当てられた作業	3	3	1.80	安全意識	2	2	1.60
言語能力	3	3	1.80				

職業・専門： ビジネス及びオフィス

特性	スコア			特性	スコア		
	評価	素点	加重		評価	素点	加重
外見	2	3	2.40	書記的・数理的	1	4	4.00
書記的・言語的	1	3	3.00	コミュニケーション能力	1	3	3.00
規則遵守	2	2	1.60	数字識別	1	4	4.00
持続	3	2	1.20	指先の器用さ	3	2	1.20
口頭での指示	2	3	2.40	書面での指示	1	3	3.00
形態知覚	3	2	1.20	一般知能	2	2	1.60
自発性	3	2	1.20	対人関係特性	3	3	1.80
運動協応	3	1	0.60	数理能力	2	2	1.60
割り当てられた作業	2	3	2.40	言語能力	2	3	2.40

職業・専門： 建設

特性	スコア			特性	スコア		
	評価	素点	加重		評価	素点	加重
狙いを定める	3	2	1.20	コミュニケーション能力	3	3	1.80
規則遵守	2	2	1.60	数字識別	2	4	3.20
持続	2	2	1.60	指先の器用さ	2	2	1.60
図式化された指示	2	2	1.60	口頭での指示	3	3	1.80
書面での指示	3	3	1.80	形態知覚	2	2	1.60
一般知能	3	2	1.20	自発性	3	2	1.20
対人関係特性	3	3	1.80	手腕の器用さ	2	3	2.40
計測技能	2	4	3.20	運動協応	2	1	0.80
数理能力	3	2	1.20	割り当てられた作業	3	3	1.80
安全意識	2	2	1.60	空間識別	2	2	1.60
言語能力	3	3	1.80				

## 作業能力マトリックス

ジョニー・フューチャー  
〒45098 コロラド州デュランゴ市  
マウンテン・ビュー通り 121

社会保障番号：111-11-1111  
年齢：16  
性別：男性  
電話番号：707-898-7765

学校：デュランゴ総合高等学校  
学年：9

職業・専門：美容師業

特性	評価	スコア		特性	評価	スコア	
		素点	加重			素点	加重
狙いを定める	2	2	1.60	外見	1	3	3.00
色識別	2	2	1.60	コミュニケーション能力	2	3	2.40
規則遵守	3	2	1.20	持続	3	2	1.20
指先の器用さ	2	2	1.60	図式化された指示	3	2	1.20
口頭での指示	2	3	2.40	形態知覚	2	2	1.60
一般知能	3	2	1.20	自発性	3	2	1.20
対人関係特性	2	3	2.40	手腕の器用さ	2	3	2.40
運動協応	1	1	1.00	割り当てられた作業	3	3	1.80
空間識別	2	2	1.60	言語能力	2	3	2.40

職業・専門：製図

特性	評価	スコア		特性	評価	スコア	
		素点	加重			素点	加重
狙いを定める	1	2	2.00	書記的・数理的	2	4	3.20
書記的・言語的	2	3	2.40	色識別	3	2	1.20
コミュニケーション能力	3	3	1.80	規則遵守	1	2	2.00
数字識別	1	4	4.00	持続	3	2	1.20
指先の器用さ	2	2	1.60	図式化された指示	1	2	2.00
口頭での指示	3	3	1.80	書面での指示	2	3	2.40
形態知覚	1	2	2.00	一般知能	2	2	1.60
手腕の器用さ	2	3	2.40	計測技能	1	4	4.00
運動協応	2	1	0.80	数理能力	1	2	2.00
割り当てられた作業	2	3	2.40	空間認識	1	2	2.00
言語能力	3	3	1.80				

職業・専門：電気機械

特性	評価	スコア		特性	評価	スコア	
		素点	加重			素点	加重
狙いを定める	1	2	2.00	書記的・数理的	3	4	2.40
書記的・言語的	3	3	1.80	色識別	2	2	1.60
コミュニケーション能力	3	3	1.80	規則遵守	2	2	1.60
数字識別	2	4	3.20	持続	3	2	1.20
指先の器用さ	1	2	2.00	図式化された指示	1	2	2.00
口頭での指示	3	3	1.80	書面での指示	2	3	2.40
形態知覚	1	2	2.00	一般知能	2	2	1.60
手腕の器用さ	1	3	3.00	計測技能	2	4	3.20
運動協応	2	1	0.80	数理能力	2	2	1.60
割り当てられた作業	3	3	1.80	安全意識	1	2	2.00
空間識別	2	2	1.60	言語能力	3	3	1.80

## 作業能力マトリックス

ジョニー・フューチャー  
〒45098 コロラド州デュランゴ市  
マウンテン・ビュー通り 121

社会保障番号：111-11-1111  
年齢：16  
性別：男性  
電話番号：707-898-7765

学校：デュランゴ総合高等学校  
学年：9

職業・専門： 電子工学

特性	評価	スコア		特性	評価	スコア	
		素点	加重			素点	加重
狙いを定める	1	2	2.00	書記的・数理的	3	4	2.40
書記的・言語的	3	3	1.80	色識別	2	2	1.60
コミュニケーション能力	3	3	1.80	規則遵守	1	2	2.00
数字識別	2	4	3.20	持続	3	2	1.20
指先の器用さ	1	2	2.00	図式化された指示	1	2	2.00
口頭での指示	3	3	1.80	書面での指示	2	3	2.40
形態知覚	1	2	2.00	一般知能	2	2	1.60
自発性	3	2	1.20	手腕の器用さ	2	3	2.40
計測技能	2	4	3.20	運動協応	2	1	0.80
数理能力	1	2	2.00	割り当てられた作業	3	3	1.80
安全意識	1	2	2.00	空間識別	1	2	2.00
言語能力	3	3	1.80				

職業・専門： 食品サービス

特性	評価	スコア		特性	評価	スコア	
		素点	加重			素点	加重
狙いを定める	3	2	1.20	外見	3	3	1.80
書記的・数理的	3	4	2.40	書記的・言語的	3	3	1.80
色識別	3	2	1.20	コミュニケーション能力	2	3	2.40
規則遵守	2	2	1.60	数字識別	2	4	3.20
持続	3	2	1.20	指先の器用さ	3	2	1.20
口頭での指示	2	3	2.40	書面での指示	3	3	1.80
形態知覚	3	2	1.20	一般知能	3	2	1.20
自発性	3	2	1.20	対人関係特性	2	3	2.40
手腕の器用さ	2	3	2.40	計測技能	3	4	2.40
運動協応	3	1	0.60	数理能力	3	2	1.20
割り当てられた作業	3	3	1.80	安全意識	3	2	1.20
空間識別	3	2	1.20	言語能力	3	3	1.80

職業・専門： グラフィック・アート

特性	評価	スコア		特性	評価	スコア	
		素点	加重			素点	加重
狙いを定める	2	2	1.60	外見	3	3	1.80
書記的・数理的	2	4	3.20	書記的・言語的	2	3	2.40
色識別	1	2	2.00	コミュニケーション能力	2	3	2.40
規則遵守	3	2	1.20	数字識別	3	4	2.40
持続	3	2	1.20	指先の器用さ	2	2	1.60
図式化された指示	2	2	1.60	口頭での指示	2	3	2.40
書面での指示	2	3	2.40	形態知覚	1	2	2.00
一般知能	3	2	1.20	自発性	3	2	1.20
対人関係特性	3	3	1.80	手腕の器用さ	3	3	1.80
計測技能	2	4	3.20	運動協応	3	1	0.60
数理能力	3	2	1.20	割り当てられた作業	3	3	1.80
安全意識	3	2	1.20	空間識別	2	2	1.60
言語能力	3	3	1.80				



## 作業能力マトリックス

ジョニー・フューチャー  
〒45098 コロラド州デュランゴ市  
マウンテン・ビュー通り 121

社会保障番号：111-11-1111  
年齢：16  
性別：男性  
電話番号：707-898-7765

学校：デュランゴ総合高等学校  
学年：9

職業・専門： 医療従事者

特性	評価	スコア		特性	評価	スコア	
		素点	加重			素点	加重
狙いを定める	2	2	1.60	外見	1	3	3.00
書記的・数理的	2	4	3.20	書記的・言語的	2	3	2.40
色識別	3	2	1.20	コミュニケーション能力	2	3	2.40
規則遵守	1	2	2.00	数字識別	2	4	3.20
持続	2	2	1.60	指先の器用さ	2	2	1.60
図式化された指示	2	2	1.60	口頭での指示	1	3	3.00
書面での指示	2	3	2.40	形態知覚	2	2	1.60
一般知能	1	2	2.00	自発性	2	2	1.60
対人関係特性	1	3	3.00	手腕の器用さ	2	3	2.40
計測技能	3	4	2.40	運動協応	3	1	0.60
数理能力	2	2	1.60	割り当てられた作業	2	3	2.40
安全意識	1	2	2.00	空間識別	2	2	1.60
言語能力	2	3	2.40				

職業・専門： マーケティング

特性	評価	スコア		特性	評価	スコア	
		素点	加重			素点	加重
外見	1	3	3.00	書記的・数理的	2	4	3.20
書記的・言語的	3	3	1.80	コミュニケーション能力	1	3	3.00
規則遵守	3	2	1.20	数字識別	1	4	4.00
持続	3	2	1.20	口頭での指示	1	3	3.00
書面での指示	3	3	1.80	形態知覚	3	2	1.20
一般知能	2	2	1.60	自発性	1	2	2.00
対人関係特性	1	3	3.00	数理能力	2	2	1.60
割り当てられた作業	3	3	1.80	言語能力	2	3	2.40

職業・専門： 金属加工

特性	評価	スコア		特性	評価	スコア	
		素点	加重			素点	加重
狙いを定める	1	2	2.00	色識別	3	2	1.20
コミュニケーション能力	3	3	1.80	規則遵守	3	2	1.20
数字識別	2	4	3.20	持続	2	2	1.60
指先の器用さ	2	2	1.60	図式化された指示	2	2	1.60
口頭での指示	3	3	1.80	書面での指示	3	3	1.80
形態知覚	1	2	2.00	一般知能	3	2	1.20
自発性	3	2	1.20	対人関係特性	3	3	1.80
手腕の器用さ	1	3	3.00	計測技能	2	4	3.20
運動協応	1	1	1.00	数理能力	3	2	1.20
割り当てられた作業	3	3	1.80	安全意識	1	2	2.00
空間識別	2	2	1.60	言語能力	3	3	1.80

## 作業能力マトリックス

ジョニー・フューチャー  
〒45098 コロラド州デュランゴ市  
マウンテン・ビュー通り 121

社会保障番号：111-11-1111  
年齢：16  
性別：男性  
電話番号：707-898-7765

学校：デュランゴ総合高等学校  
学年：9

職業・専門： 職業としての家政学

特性	評価	スコア		特性	評価	スコア	
		素点	加重			素点	加重
外見	2	3	2.40	書記的・数理的	3	4	2.40
書記的・言語的 コミュニケーション能力	3	3	1.80	色識別	3	2	1.20
数字識別	1	3	3.00	規則遵守	3	2	1.20
指先の器用さ	3	4	2.40	持続	3	2	1.20
口頭での指示	3	2	1.20	図式化された指示	3	2	1.20
形態知覚	2	3	2.40	書面での指示	3	3	1.80
自発性	3	2	1.20	一般知能	2	2	1.60
手腕の器用さ	2	2	1.60	対人関係特性	1	3	3.00
運動協応	3	3	1.80	計測技能	3	4	2.40
割り当てられた作 業	3	1	0.60	数理能力	3	2	1.20
空間識別	3	3	1.80	安全意識	3	2	1.20
	3	2	1.20	言語能力	2	3	2.40

職業・専門： 運輸

特性	評価	スコア		特性	評価	スコア	
		素点	加重			素点	加重
狙いを定める	2	2	1.60	色識別	3	2	1.20
コミュニケーション能力	3	3	1.80	規則遵守	3	2	1.20
数字識別	3	4	2.40	持続	3	2	1.20
指先の器用さ	1	2	2.00	図式化された指示	2	2	1.60
口頭での指示	3	3	1.80	書面での指示	3	3	1.80
形態知覚	1	2	2.00	一般知能	3	2	1.20
自発性	3	2	1.20	対人関係特性	3	3	1.80
手腕の器用さ	1	3	3.00	計測技能	3	4	2.40
運動協応	1	1	1.00	数理能力	3	2	1.20
割り当てられた作 業	3	3	1.80	安全意識	2	2	1.60
空間識別	2	2	1.60	言語能力	3	3	1.80

職業・専門： 木工

特性	評価	スコア		特性	評価	スコア	
		素点	加重			素点	加重
狙いを定める	3	2	1.20	コミュニケーション能力	3	3	1.80
規則遵守	2	2	1.60	数字識別	2	4	3.20
持続	2	2	1.60	指先の器用さ	2	2	1.60
図式化された指示	2	2	1.60	口頭での指示	3	3	1.80
書面での指示	3	3	1.80	形態知覚	2	2	1.60
一般知能	3	2	1.20	自発性	3	2	1.20
対人関係特性	3	3	1.80	手腕の器用さ	2	3	2.40
計測技能	2	4	3.20	運動協応	2	1	0.80
数理能力	3	2	1.20	割り当てられた作 業	3	3	1.80
安全意識	2	2	1.60	空間識別	2	2	1.60
言語能力	3	3	1.80				